

年
月
日

歐洲大戰ニル賠償ノ係雜件
賠償物件処理委員會ノ係

第

卷

B
8
0
1-2

B-0276

昭秘第 一七 號

昭和二年二月十二日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官

西村 洋一 郎

外務事務官 佐々木勝三郎殿

客月二十七日賠償物件處理委員會第十八回會議關係書類別紙ノ通訓製
致候ニ付及送付候御査閱相成度尙御意見有之候ハハ折返御垂示被下
度此段奉希候

(分類B8.0.0.1-2)

大 藏 省

一五、一 宮井納

昭和二年一月二十七日

賠償物件處理委員會第十八回會議

議 題

賠償勘定ヲ利用シ「ロレーチ」教授文庫購入ニ關スル件

議題説明

第十七回賠償物件處理委員會會議ニ於テ「オステルリート」教授ノ工業
所有權著作權等ニ關スル文庫ヲ賠償勘定ニ依リ購入ノ件決議有之タル席
上各委員ヨリ將來ニ於テモ此ノ權ノモノニ付テハ可成賠償勘定ヲ利用シ
本邦ニ取得シ置クコト可然トノ意見出テタルニ付右ノ意向ヲ外務省ヨリ
在獨長岡大使ニ通シ置キタル處今般同大使ヨリ照會アリ其ノ内容ハ昨年
八月物故セラレタル伯林大學教授ニシテ獨逸語學ノ研究者トシテ知名ナ
ル「ロレーチ」(Roese)氏ノ文庫賣物ニ出テタルカ鑑定人ノ意見ニ依レ
ハ同文庫ハ獨逸文學及獨逸語學ニ關スルモノニシテ卷數一萬三千冊ニ及
ビ此ノ方面ノ文庫トシテ珍ラシキモノナル由、賣價ハ約一萬「アメリカ」
弗ナルカ若シ本邦ニ於テ購入ノ希望アラハ折返シ其ノ旨同示アリ度シ文

一五、一 宮井納

大 藏 省

B-0276

庫目錄ハ入手次第送付スヘシト云フニアリ
依テ右ノ趣旨ヲ東京帝國大學ニ傳達シ其ノ意見ヲ徵シタル處同大學ニ於
テモ熱心ニ之カ取得方ヲ希望アリタリ
右ノ次第ナルヲ以テ本文庫ハ賠償勘定ニ依リ購入スルニ頗ル適當ノモノ
ト認メラルルニ付之ヲ購入スルコトトシ其ノ手續ハ前回「オスチルリ」
ト一教授文庫購入ノ例ニ依リ長岡大使ニ對シ可然交渉方ヲ依頼スルコト
トシ尙購入後ノ保管方法トシテハ東京帝國大學附屬圖書館ニ對シ無償貸
付ノ形式ニ依リ之カ保管ヲ爲サシムルコトト致シ度シ

決議

賠償勘定ヲ利用シ「レエーテ」教授文庫ヲ購入スルコト
先方申出價格（約一萬弗）カ適當ナリヤ否ヤハ鑑定人ヲシテ鑑定セシム
ルコト
本邦ニ取得後ハ東京帝國大學附屬圖書館ニ對シ無償貸付ノ形式ニ依リ之
カ保管ヲ爲サシムルコト

大藏省

密第 二七 號

昭和二年三月二十六日

賠償物件處理委員 幹事

大藏事務官 西村 淳 一 郎



委員
外務省條約局長 佐分利貞夫殿

昭和二年三月二十四日第十九回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付右
議願並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閱相成度此致奉希候

大藏省

第十九回賠償物件處理委員會議案及決議
議案、第二回對獨賠償債權讓渡ニ關スル件

議案說明

對獨賠償債權中「ドーズ」年次金餘裕額ニ付テハ昨年九月五百萬麻ヲ限
 度トシ民間希望者ニ對シ第一回ノ讓渡ヲ行ヒタルカ其ノ後右年次金餘裕
 額ハ附錄甲ノ通り本年二月末現在概算二百四十七萬麻ニシテ本年六月末
 ニハ五百十五萬麻、同八月末ニハ六百五十三萬麻ニ達ス可シ。
 尤モ本年四月頃右餘裕額ノ一部ニ付現金支拂アル見込ニシテ其ノ金額ハ
 不明ナルモ假リニ前年ト同額トセハ二百二十二萬麻ナリ依ツテ右金額ヲ
 控除スルモ本年八月末迄ニ四百三十一萬麻ノ餘裕額ヲ生スルニ付テハ此
 ノ際左記方法ニ依リ第二回對獨賠償債權讓渡ヲ行フコトヲ適當トス
 (一) 第二回對獨賠償債權讓渡額ハ四百萬麻ヲ限度トスルコト
 (二) 第二回對獨賠償債權讓渡ノ發表ハ本年三月中ニ之ヲ行フコトトシ右ニ
 關スル大藏省告示(附錄乙參照)ヲ同月中ノ官報ニ掲載スルコト

大 藏 省

(三) 賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト
 (四) 第二回對獨賠償債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ
 一個年以内トスルコト
 (五) 前各號ノ場合ヲ除ク外第二回對獨賠償債權讓渡ニ關スル方法並條件
 等ハ第一回債權讓渡ノ場合ノ前例ニ依ルコト

決 議

四百萬麻ヲ限度トシ第二回對獨賠償債權讓渡ヲ行フコト
 右實行ノ方法並條件等ハ第一回對獨賠償債權讓渡ノ場合ノ前例ニ依ルコ
 ト但シ賠償債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ一個年
 以内トシ且賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト

大 藏 省

本邦賠償債権積立確定額表

昭和二年二月調

一五、一 富井 結

賠償債権本邦割當額		月次	各月平均割當額	
下入第三年度本邦割當額 八〇八萬金麻 自大正十五年九月 至昭和二年八月		大正十五年九月	六七萬金麻	上記割當額ノ 内一五五萬麻 ハ使途決定済 殘額四六萬麻
		十月	六七	
下入第三年度		昭和二年十一月	六七	一八〇 二四七 三一四 三八一 四四八 五一五 五八二
		十二月	六七	
		昭和二年一月	六七	
		二月	六七	
		三月	六七	
		四月	六七	
		五月	六七	
		六月	六七	
		七月	六七	
		八月	六七	
		九月	六七	
		十月	六七	

大 藏 省

一五、一 富井 結

下入第四年度本邦割當額		昭和二年		昭和三年		下入第四年度	
九七〇萬金麻 自昭和二年九月 至昭和三年八月		八月	七一萬金麻	八月	六五三萬麻	一、〇五三 一一三三 一二九三 一三七三 一四五三 一五三三 一六二三	七三三 八一三 八九三 九七三 一〇五三 一一三三 一二九三 一三七三 一四五三 一五三三 一六二三
		九月	八〇	九月	九七三		
十月	八〇	十月	八九三				
十一月	八〇	十一月	九七三				
十二月	八〇	十二月	一〇五三				
昭和三年一月	八〇	一月	一一三三				
二月	八〇	二月	一二九三				
三月	八〇	三月	一三七三				
四月	八〇	四月	一四五三				
五月	八〇	五月	一五三三				
六月	八〇	六月	一六二三				
七月	八〇	七月	一六二三				
八月	九〇	八月	一六二三				

大 藏 省

B-0276

F1ス年度使用計画表

昭和二年二月末日現在

一五、一 富井 納

F1ス年度	年次金額	使用品名		金額	餘裕額
		品名	金額		
第一年度	五〇〇	染料 自動車 (六十臺)	三八〇	八〇	
		現金收入		二二二	
		日本無線(株) 譲渡額		五〇	
		圖書		二〇	
		第一回民間債権 譲渡額		五〇〇	
		オステリト文庫		三	
		レエーテ文庫		四	
		マセチス自動車 (三臺)		六	
第二年度	六四〇				
第三年度	八〇八				
内 a 経過額	八四〇				
b 未経過額	六八				

大蔵省

一五、一 富井 納

計	一九四八	司法省關係自動車 (四十三臺)	第三年度現金收入見込	一、五一七	四三一 (内未経過額 四〇六萬)
		三〇	二二二		

大蔵省

B-0276

大蔵省告示第百三十一號
對 獨 賠 債 權 讓 渡 ノ 件

政府ハ對獨賠債權中ト一ス年次金餘裕額五百萬圓ヲ限度トシ此ノ際之
ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコトトナシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ
實物引渡規程（大正十五年三月五日外務省告示第十九號）並左記各號ニ
定ムル所ニ依ルモノトス

一 賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上獨逸商品ノ輸入ニ從
事シ且信用アル商人タルコトヲ要ス

二 賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額、該債權ヲ利用シ購入セム
トスル獨逸商品ノ種類數量價格及其ノ代金支拂ノ時期並前號ノ資格
ヲ具備スル旨ヲ明記シタル對獨賠債權讓渡申請書ヲ大蔵省理財局
長宛ニ提出スヘシ

三 前號ノ申請書ハ大正十五年十月末日迄ニ提出スルコトヲ要ス但シ右
期間内ト雖申請額カ讓渡總定額ヲ超過スル場合ニハ申請書ヲ受理セ
ザルコトアルヘシ

附 録 乙

四 賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國產振興ノ趣旨ニ反セス且
資淨品ニ非サルモノナルコトヲ要ス

五 賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十萬圓又ハ其ノ相當額以上トス
六 政府ハ對獨賠債權讓渡申請書ヲ調査シ大蔵省賠償物件處理委員會
ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル
上申請者ト契約ヲ締結スルモノトス

七 賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振出ス賠償爲替手
形ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス

八 賠償爲替手形ハ原則トシテ廢貨ニテ作成ス但シ商品購入契約カ廢貨
以外ノ通貨ニテ表示セラレタルトキハ右通貨ニ依リ作成ス

九 賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償爲替手形ノ金額ヲ其ノ讓渡契約成立ノ日
ニ於ケル橫濱正金銀行對外爲替相場ニ依リ換算シタル邦貨額トス

十 賠償債權ヲ讓渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ賠償爲替手形交
付ノ日ヨリ一年未_レ月以内ノ延納ヲ認ムルコトヲ得ルモノトス

十一 前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ國債ヲ提供セシムル
モノトス

備考
（赤書ハ今回変更シタル個所ナリ）

八前號ノ賠償爲替
手形ノ交付ハ昭和
二年六月以降ニ於
テ之ヲ行フモノトス

賠秘第二七號

昭和二年三月二十六日

賠償物件處理委員會幹事
大藏事務官 西村 淳 一 郎



委員
外務書記官 栗山 茂 殿

昭和二年三月二十四日第十九回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付右
議題並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閲相成度此段奉希候

大 藏 省

一五、一 富井納

第十九回賠償物件處理委員會決議及決議
議題、第二回對獨賠償債權讓渡ニ關スル件
議題説明

對獨賠償債權中「ドーズ」一年次金餘裕額ニ付テハ昨年九月五百萬麻ヲ限
度トシ民間希望者ニ對シ第一回ノ讓渡ヲ行ヒタルカ其ノ後右年次金餘裕
額ハ附録甲ノ通り本年二月末現在概算二百四十七萬麻ニシテ本年六月末
ニハ五百十五萬麻、同八月末ニハ六百五十三萬麻ニ達ス可シ。
尤モ本年四月頃右餘裕額ノ一部ニ付現金支拂アル見込ニシテ其ノ金額ハ
不明ナルモ假リニ前年ト同額トセハ二百二十二萬麻ナリ依ツテ右金額ヲ
控除スルモ本年八月末迄ニ四百三十一萬麻ノ餘裕額ヲ生スルニ付テハ此
ノ際左記方法ニ依リ第二回對獨賠償債權讓渡ヲ行フコトヲ適當トス
(一) 第二回對獨賠償債權讓渡額ハ四百萬麻ヲ限度トスルコト
(二) 第二回對獨賠償債權讓渡ノ發表ハ本年三月中ニ之ヲ行フコトトシ右ニ
關スル大藏省告示(附録乙參照)ヲ同月中ノ官報ニ掲載スルコト

大 藏 省

B-0276

本邦賠償債権積立豫定額表

賠償債権本邦割當額	月次	各月平均割當額	餘裕額累計
ドー入第三年度本邦割當額 八〇八萬金庫 自大正十五年九月 至昭和二年八月	大正十五年九月	六七萬金庫	上肥割當額ノ 内一五五萬庫 ハ使途決定済 殘額四六萬庫
	十月	六七	一一三
	十一月	六七	一八〇
	十二月	六七	二四七
	昭和二年一月	六七	三一四
	二月	六七	三八一
	三月	六七	四四八
	四月	六七	五一五
	五月	六七	五八二
	六月	六七	
	七月	六七	
	ドー入第三年度		

本邦賠償債権積立豫定額表

昭和二年二月調

一五二一 富井納

大藏省

(三)賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト
 (四)第二回對獨賠償債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ
 一個年以内トスルコト
 (五)前各號ノ場合ヲ除ク外第二回對獨賠償債權讓渡ニ關スル方法並條件
 等ハ第一回債權讓渡ノ場合ノ前例ニ依ルコト

決 議

四百萬庫ノ限度トシ第二回對獨賠償債權讓渡ヲ行フコト
 右實行ノ方法並條件等ハ第一回對獨賠償債權讓渡ノ場合ノ前例ニ依ルコ
 ト但シ賠償債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ一個年
 以内トシ且賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト

一五二一 富井納

大藏省

D-I 第四年度本邦割當額

九七〇萬金庫
自昭和二年九月
至昭和三年八月

D-I 第四年度

昭和二年	八月	七一萬金庫	六五三萬庫
	九月	八〇	七三三
	十月	八〇	八一三
	十一月	八〇	八九三
	十二月	八〇	九七三
昭和三年	一月	八〇	一〇五三
	二月	八〇	一一三三
	三月	八〇	一二一三
	四月	八〇	一二九三
	五月	八〇	一三七三
	六月	八〇	一四五三
	七月	八〇	一五三三
	八月	九〇	一六二三

一五二 富井納

大藏省

D-I 次年度金使用計劃表

昭和二年二月末日現在

D-I 次年度	年次金額	品名		金額	餘裕額
	萬庫	使	用	萬庫	萬庫
第一年度	五〇〇	燃料		三八〇	
		自動車 (六十臺)		八〇	
		現金收入		二二二	
		日本無線會社へ		五〇	
		譲渡額		二〇	
		圖書		五〇	
		第一回民間債權		五〇〇	
		譲渡額		三	
		オスチルリト文庫		四	
		レエーテ文庫		三	
		マセテス自動車		六	
第二年度	六四〇				
第三年度	八〇八				
内 a 經過額	八四〇				
b 未經過額	四〇二				

一五二 富井納

大藏省

B-0276

大
藏
省

計	
一九四八	
	(三臺) 司法省關係自動 車(四十三臺) 第三年度現金收 入見込
一五 一七	二 二 二 三 〇
四三 一 四〇 六 萬 圓	内未經過額

一五二一 富井納

B-0276

大蔵省告示第百三十一號

對獨逸賠償債權讓渡ノ件

政府ハ對獨逸賠償債權中トス年次金餘裕額五百萬圓ノ限度トシ此ノ際之ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコトトシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ實物引渡規程(大正十五年三月五日外務省告示第十九號)並左記各號ニ定ムル所ニ依ルモノトス

一 賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上獨逸商品ノ輸入ニ從事シ且信用アル商人タルコトヲ要ス

二 賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額、該債權ヲ利用シ購入セムトスル獨逸商品ノ種類數量價格及其ノ代金支拂ノ時期並前號ノ資格ヲ具備スル旨ヲ明記シタル對獨逸賠償債權讓渡申請書ヲ大蔵省理財局長宛ニ提出スヘシ

三 前號ノ申請書ハ大正十五年十月末日迄ニ提出スルコトヲ要ス但シ右期間内ト雖申請額カ讓渡豫定額ヲ超過スル場合ニハ申請書ヲ受理セサルコトアルヘシ

附録乙

四 賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國産振興ノ趣旨ニ反セス且資澤品ニ非サルモノナルコトヲ要ス

五 賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十萬圓又ハ其ノ相當額以上トス六 政府ハ對獨逸賠償債權讓渡申請書ヲ調査シ大蔵省賠償物件處理委員會ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル上申請者ト契約ヲ締結スルモノトス

八 前号ノ賠償債權爲替手形ノ交付ハ昭和二年六月以降ニ於テ之ヲ行モトス

七 賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振出ス賠償爲替手形ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス

九 賠償爲替手形ハ原則トシテ廢貨ニテ作成ス但シ商品購入契約カ廢貨以外ノ通貨ニテ表示セラレタルトキハ右通貨ニ依リ作成ス

十 賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償爲替手形ノ金額ヲ其ノ讓渡契約成立ノ日ニ於ケル横濱正金銀行對外爲替相場ニ依リ換算シタル邦貨額トス

十一 賠償債權ヲ讓渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ一年ホト以内ノ延納ヲ認ムルコトヲ得ルモノトス

十二 前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ國債ヲ提供セシムルモノトス

(備考)

赤書ハ今回変更シタル箇所ナリ

昭和二年五月三日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳一郎

委員 外務省條約局長 佐分利 貞夫 殿



昭和二年五月二日第二十回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付右議題
並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閱相成度此段奉希候

大藏省

議題、賠償勘定ニ依リ購入シタル自動車ノ貸付料ニ關スル件

議題説明

賠償勘定ニ依リ購入シタル自動車ノ貸付料ハ現在「プロトス」一臺ニ付一
ケ月五十圓、「ベント」一臺ニ付一ケ月六十圓ノ割合ナル處各官廳ニ於テ
ハ經常費中ヨリ是等ノ金額ヲ捻出スルコト頗ル困難ナル事情アルヲ以テ其
ノ引下アリ度旨ノ交渉アリ特ニ「ベント」ニ關シテハ貸付契約ノ解除ヲ求
ムルモノアル狀況ナルニ付テハ本年度ニ於ケル貸付料ハ右ノ如キ實際ノ需
要狀況ニ鑑ミ「ベント」「プロトス」共各一臺ニ付一ケ月五十圓ノ割合ト
ナスコトヲ適當トス

決議

昭和二年度ニ於ケル自動車貸付料ハ各官廳ノ需要狀況ニ鑑ミ「ベント」「プロ
トス」共各一臺ニ付一ケ月五十圓ノ割合トスルコト

大藏省

昭和二年五月十四日

賠償物件處理委員會會長

大藏次官 黒田 英



外務事務官 佐々木勝三郎 殿

五月十七日午前十一時ヨリ中央會議所第八號室ニ於テ賠償物件處理委員會第二十一回會議別紙議題ニ關シ開催致度候ニ付御出席被下度此段及通牒候也

大 藏 省

(三五ノ七) 二宮井

賠償物件處理委員會第二十一回會議

議題第一。第二回對獨賠償債權讓渡額割當ニ關スル件
議題說明

第二回對獨賠償債權中ド一ス年次金餘裕額四百萬圓ヲ限度トシ民間希望者ニ讓渡ノ件ニ關シテハ本年三月三十日ノ官報ニ大藏省告示第四十八號ヲ以テ公表シタル處別表甲ノ通り四月十五日迄ノ讓渡希望申請額四百六拾萬圓ニ達シタルヲ以テ同日ヲ以テ締切り之ヲ支拂ノ月別ニ依リ整理シタルニ別表乙ノ通りトナリ讓渡豫定額ニ對シ貳百七拾萬圓ノ超過ニシテ且各申請共讓渡事務規程ニ定ムル條件ヲ具備セリ而シテ各申請會社ニ對スル讓渡額ノ割當ニ付テハ各申請額ノ割合ト各對獨輸入取扱額ノ割合トノ平均割合ヲ標準トシ讓渡豫定額四百萬圓(純分比價ニテ邦貨ニ換算シ百九拾壹萬貳千圓)ヲ按分スルコト公平且適當ト認メラル

決 議 (案)

三月三十日大藏省告示第四十八號ニ依ル第二回對獨賠償債權中ド一ス年次

大 藏 省

金餘裕額四百萬圓ノ讓渡ニ付テハ左表ノ通り之カ割當ヲ爲スコト

第二回對獨賠償債權讓渡割當額表(案)

會社名	割當額
三井物産株式會社	七三二、〇〇〇圓
三菱商事株式會社	六三八、〇〇〇
大倉商事株式會社	二三九、〇〇〇
富士電機製造株式會社	一八九、〇〇〇
安宅商會	一一四、〇〇〇
計	一、九一二、〇〇〇

二二富井精

大藏省

B-0276

丙、第二回賠償債權讓渡申請會對獨貿易額表
 (但大正十五年申取扱額)

會社名	對獨貿易額		計
	輸入額	輸出額	
三井物産株式會社	一、九、七、八、二、六、一、五	一、〇、三、九、五、八、三	二、〇、八、二、二、一、九、八
三菱商事株式會社	一、〇、八、九、一、九、四、〇	一、〇、四、四、一、四、〇	一、一、九、三、六、〇、八、〇
大倉商事株式會社	五、〇、〇、〇、〇、〇	〇	五、〇、〇、〇、〇、〇
富士電機製造株式會社	四、五、五、五、八、九、〇	〇	四、五、五、五、八、九、〇
株式會社安宅商會	四、四、〇、〇、〇、〇	〇	四、四、〇、〇、〇、〇

B-0276

二二宮井納

議題第二。「プロロイス」文庫購入ニ關スル件

議題説明

今般長岡駐獨大使ヨリ獨逸憲法ノ起草者ニシテ且「シヤテイマン」内閣ノ
内務大臣タリシ故「プロロイス」氏ノ文庫賣物トナリタルカ同文庫ハ卷數約
五千（主トシテ國法學。行政法。憲法等）賣價約二萬麻ナリ本邦ニ於テ購
入ノ希望アラハ折返シ回電アリ度旨外務省宛ニ照會アリ尙東京帝國大學總
長ヨリモ「プロロイス」文庫ヲ賠償勘定ニテ購入ノ上同大學圖書館ニ保管方
取計ハレ度旨申出アリタリ

右ノ事情ナルヲ以テ本文庫ハ賠償勘定ニ依リ購入スルニ適當ノモノト認メ
シルルニ付之ヲ購入スルコトトシ其ノ手續ハ前例ニ依リ長岡大使ニ對シ可
然交渉方ヲ依頼シ購入後ハ東京帝國大學附屬圖書館ニ對シ之カ保管ヲ爲サ
シムルコトト致シ度シ

決議（案）

賠償勘定ヲ利用シ「プロロイス」文庫ヲ購入スルコト

大藏省

二二宮井納

先方申出價格（約二萬麻）カ適當ナリヤ否ヤハ鑑定人ヲシテ鑑定セシムル
コト

本邦ニ到着後ハ東京帝國大學附屬圖書館ニ對シ無償ニテ之カ保管ヲ爲サシ
ムルコト

大藏省

B-0276

議題第三、官廳用自動車購入ニ關スル件

議題説明

司法省ヨリ附録甲ノ通り幌型自動車四十三臺（裁判所及検事局臨検捜査用四十一臺及少年審判所少年護送用二臺）ヲ賠償勘定ヲ利用シ購入ノ上同省ニ對シ貸付アリ度旨申出有之タル處右自動車ノ必要ハ頗ル緊切ナルモノアリ既ニ本年度司法省豫算中ニモ右自動車ニ關スル本年十月以降ノ維持費ヲ計上シアル次第ナルヲ以テ司法省ノ申出ハ之ヲ承認シ幌型自動車四十三臺ヲ購入スルコトト致シ度シ

右ノ場合如何ナル自動車ヲ最モ適當トスルカニ付テハ本特別會計事務廳託タル陸軍省島海軍重兵大尉ノ調査ニ依ルニ附録乙ノ通り「メルセデス・ベントツ」又ハ「プロトス」ノ内何レカーヲ適當トスルモ目下ノ處本邦ニ同車輛存在セス目下本邦代理店ニ於テ右各車輛一臺宛見本トシテ取寄中ニ付右到着ヲ待チ實物比較ノ上最後ノ決定ヲ爲スコト適當ト認メラル

決議（案）

大藏省

司法省ニ對シ貸付タル爲幌型自動車四十三臺ヲ賠償勘定ニテ購入スルコト購入ス可キ自動車ノ種類ハ獨逸ヨリ到着ス可キ見本ニ付實地試験ヲ行ヒ其ノ結果ニ基キ之カ決定ヲ爲スコト

大藏省

B-0276

司法省會甲第一一七一號

昭和二年四月六日

司法大臣官房會計課長 近藤 三郎

大藏省理財局長 富田 勇太郎 殿

自動車貸付ノ件ニ付照會

當省所管裁判所、審判所用トシテ貸付可相成賠償金特別會計所屬自動車
四拾參臺ハ本年八月末日迄ニ當省ニ交付相成候様御手配相煩度尙右自
車備付箇所ハ別紙ノ通ニ有之候條御了知被下度候

二二宮非納

附錄甲

大藏省

東	千	水	宇	前	靜	甲	長	新	京	大	神	奈	和
京	葉	戸	都	橋	岡	府	野	潟	都	阪	戸	良	歌
地	地	地	宮	地	地	地	地	地	地	地	地	地	山
方	方	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一
德	高	高	名	安	福	金	富	廣	山	岡	松	松	長
島	松	知	古	濃	井	澤	山	島	口	山	江	山	崎
地	地	地	屋	津	地	地	地	地	地	地	地	地	地
方	方	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	方
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

二二宮非納

大藏省

B-0276

旭	國	札	青	秋	山	福	仙	宮	厩	無	大
川	前	幌	森	山	形	島	臺	崎	兒	本	分
地	地	地	地	地	地	地	地	地	島	地	地
方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方	方

大
藏
省

二、二
富井
納

B-0276

賠償自動車諸元比較表 昭和三四七

名 稱	車 別	製造 會 社	型 式	坐 席 數	氣 筒 數	氣 筒 經 程	馬 力 (警 視 機)	變 速 裝 置	軸 間 距 離	價 格 東 京 渡 シ
メルセデス、ベンツ		メルセデス、ベンツ會社	一九二七年式	五	六	一〇〇	一三、四	前進 三、後退 一	三、〇四三	一、七五〇 五八五〇 弗
プロトス		シーメンスツケルト會社 プロトス自動車工場	一九二七年式	六	四	一三〇	一三、五	前進 四、後退 一	三、三〇〇	二、〇四〇 七六五〇 弗

(手数料ナシ)

(手数料ナシ)

附録乙

大藏省

二三宮井

B-0276

司法省自動車採擷上執リタル要件

- 一、犯罪捜査上地形ノ不良並ニ多少ノ坂路ヲモ自由ニ突破シ得ル爲メ馬力ノ強大ヲ要スルコト
- 二、速力ノ大ナルコト
- 三、本邦各地方ノ道路ノ關係ヲ顧慮シ成ル可ク「ホイールベース」ノ短カク輕快ニシテ廻轉容易ナルヲ要スルコト

大 藏 省

議題第四、賠償勘定ニ依リ獨逸圖書ヲ購入シ各大學ニ分給

保管セシムルノ件

議題説明

賠償勘定ヲ利用スル獨逸圖書ノ購入ニ付テハ各官廳並東京及京都兩大學ノ希望申出ニ應シ現在手續進捗中ノモノ(一)各官廳關係分一般圖書五萬一千冊、(二)オステルリート「文庫三萬二千冊、計八萬三千冊、(三)東京帝大關係分一般圖書十萬冊、「レエーテ」文庫二萬冊、計十二萬冊、(四)京都帝大關係分一般圖書五萬冊、總計二十五萬三千冊ナリ

然ル處他ノ各大學ヨリモ同様賠償圖書保管方ヲ希望スルモノ遺出スル現狀ナルヲ以テ此ノ際一定ノ標準ニ依ル金額ヲ各大學ニ割當テ右割當金額ノ限度内ニ於テ各大學ノ希望スル一般圖書又ハ特殊文庫ヲ賠償勘定ヲ利用シ當特別會計ニ於テ購入シ之ヲ各大學ニ無償ニテ保管セシムルコトトシ而シテ各大學ニ對スル割當額ノ限度ハ本年九月ヨリ開始スル「ドース」第四年度分ニ付テハ從來ノ不均衡ヲ補フ意味ニ於テ各大學共一率ニ五萬冊宛即テ東

大 藏 省

京、京都、東北、九州、北海道及京城ノ六大學ニ付合計三十萬圓トスルコト適當ト認メラル

決 議 (案)

賠償協定ヲ利用シ各大學ノ希望スル圖書ヲ購入シ之ヲ各大學ニ無償ニテ保管セシムルコト
各大學ニ對スル圖書購入費額ノ限度ハ「ドース」第四年度分ニ付テハ各大學共一學ニ五萬圓宛トスルコト

二二宮井物

大 藏 省

B-0276

賠秘第レノ三 別

昭和二年五月二十五日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官

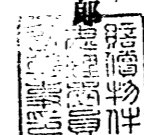
西

村

淳

一

郎



外務事務官佐々木陽三郎殿

本月十七日賠償物件處理委員會第二十一回會議議事錄別紙ノ通調製致候ニ付及送付候條御査閱相成度尙御意見有之候ハ折返御垂示被下度此段奉希候

一五、一 富井納



大藏省

B-0276

賠償物件處理委員會第二十一回會議々事録

(庫)昭和二年五月七日

大藏省理財局

B-0276

賠償物件處理委員會第二十一回會議々事録

昭和二年五月十七日午前十一時二十分開會——午後〇時三十三分開會

出席者

會長	大藏次官	栗山 英雄
委員	外務書記官	津島 壽一
	大藏書記官	西山 政猪
	文部省專門學務長	副島 千八
	商工省商務局長	村井 四郎
	商工書記官	宮崎 清則
	逓信省管船局長	廣幡 忠隆
	逓信書記官侯爵	佐々木 勝三郎
關係員	外務事務官	西村 淳一郎
幹事	大藏事務官	

書記	大藏 屬	島田 恒
		村松 光次

會長ノ就任挨拶アリ次テ議事ニ入ル

議題及議事

議題第一 第二回對獨賠償債權讓渡額割當ニ

關スル件

第二回對獨賠償債權中トリス年次金餘裕額四百萬
 ヲ限度トシ民間希望者ニ讓渡ノ件ニ關シテハ本年三月
 三十日ノ官報ニ大藏省告示第四十八號ヲ以テ公表シタ
 ル處列表甲ノ通り四月十五日迄ノ讓渡希望申請額四百

六拾万餘円ニ達シタルヲ以テ同日ヲ以テ締切リ之ヲ支拂ノ月別ニ依リ整理シタルニ別表乙ノ通りトナリ讓渡豫定額ニ對シ貳百七拾万餘円ノ超過ニシテ且各申請共讓渡事務規程ニ定ムル條件ヲ具備セリ而シテ各申請會社ニ對スル讓渡額ノ割當ニ付テハ各申請額ノ割合ト各對獨輸入取扱額ノ割合トノ平均割合ヲ標準トシ讓渡豫定額四百万麻純分比價ニテ邦債ニ換算シ百九拾壹万貳千円ヲ按分スルコト、シ而シテ賠償債權ヲ利用シ各會社ノ輸入スル商品ハ之ヲ國産振興ノ趣旨ニ反セザルモノ、ミニ限定スル為賠償債權割當額ヲ各購入契約ニ適用スルニ際シ更ニ之ヲ選定ヲ行フコト、シ左ノ通り決議アリタリ

決議

第二回對獨賠償債權讓渡額割當ニ関スル件
三月三十日大藏省告示第四十八號ニ依リ第二回對獨賠償債權中ドース年次金餘裕額四百万麻ノ讓渡ニ付テハ左表ノ通り之ヲ割當ヲ為スコト

第二回對獨賠償債權讓渡割當決定額表

會社名	割當額
三井物産株式會社	七三二、〇〇〇円
三菱商事株式會社	六三八、〇〇〇
大倉商事株式會社	二三九、〇〇〇
富士電機製造株式會社	一八九、〇〇〇
安宅商會	一一四、〇〇〇
計	一、九一二、〇〇〇

丙、第二回賠償債權讓渡申請會對獨貿易額表
 (但大正十五年中取扱額)

會社名	對獨貿易額		計
	輸入額	輸出額	
三井物産株式會社	一、九、七、八、二、六、一、五	一、〇、三、九、五、八、三	二、〇、八、二、二、一、九、八
三菱商事株式會社	一、〇、八、九、一、九、四、〇	一、〇、四、四、一、四、〇	一、一、九、三、六、〇、八、〇
大倉商事株式會社	五、〇、〇、〇、〇、〇	〇	五、〇、〇、〇、〇、〇
富士電機製造株式會社	四、五、五、五、八、九、〇	〇	四、五、五、五、八、九、〇
株式會社安宅商會	四、四、〇、〇、〇、〇	〇	四、四、〇、〇、〇、〇

B-0276

議題及議事

議題第一、プロロイス文庫購入ニ関スル件

今般長岡駐獨大使ヨリ獨逸憲法ノ起草者ニシテ且シヤ
ヤゲイマン内閣ノ内務大臣タリシ故「プロロイス」氏ノ文庫
賣物トナリタルク同文庫ハ卷數約五千(主トシテ國法學
行政法憲法等)賣價約ニ万麻ナリ本邦ニ於テ購入ノ希望
アラハ折返シ回電アリ度旨外務省宛ニ照會アリ尚東京
帝國大學總長ヨリモ「プロロイス」文庫ヲ賠償勘定ニテ購入
ノ上同大學圖書館ニ保管方取計ハレ度旨申出アリタリ
右ノ事情ナルヲ以テ本文庫ハ賠償勘定ニ依リ購入ス
ルニ適當ノモノト認メラル、ニ付之ヲ購入スルコト、
シ其ノ手續ハ前例ニ依リ長岡大使ニ對シ可然交渉方ヲ

依頼シ購入後ハ東京帝國大學附屬圖書館ニ對シ之カ保
管ヲ為サシムルコト、シ左ノ通り決議アリタリ

決議

「プロロイス」文庫購入ニ関スル件

賠償勘定ヲ利用シ「プロロイス」文庫ヲ購入スルコト

先方申出價格(約ニ万麻)カ適當ナリヤ否ヤハ鑑定人ヲ

シテ鑑定セシムルコト

本邦ニ到着後ハ東京帝國大學附屬圖書館ニ對シ無償

ニテ之カ保管ヲ為サシムルコト

議題及議事

議題第三官廳用自動車購入ニ関スル件

司法省ヨリ附録甲ノ通り幌型自動車四十三台（裁判所及検事局臨檢捜査用四十一台及少年審判所少年護送用二台）ヲ賠償勘定ヲ利用シ購入、上同省ニ對シ貸付アリ度旨申出有之タル處右自動車ノ必要ハ頗ル緊切ナルモノアリ既ニ本年度司法省豫算中ニモ右自動車ニ關スル本年十月以降ノ維持費ヲ計上シアル次第ナルヲ以テ司法省ノ申出ハ之ヲ承認シ幌型自動車四十三台ヲ購入スルコト適當ナリ

而シテ右ノ場合如何ナル種類ノ自動車ヲ購入スルヲ可トスルカニ付テハ本特別會計事務囑託タル陸軍省島

海輜重兵大尉ノ調査ニ依ルニ附録乙ノ通りメルセデスベンツ又ハ「プロトス」ノ内何レカーヲ適當トスルモ目下、處本邦ニ同車輛存在セス目下本邦代理店ニ於テ右各車輛一台宛見本トシテ取寄中ニ付右到着ヲ待テ実物比較、上最後ノ決定ヲ為スコト適當ト認メ依テ左ノ如ク決議アリタリ

決議

官廳用自動車購入ニ関スル件

司法省ニ對シ貸付クル為幌型自動車四十三台ヲ賠償勘定ニテ購入スルコト

購入スヘキ自動車ノ種類ハ獨乙ヨリ到着ス可キ見本ニ付實地試験ヲ行ヒ其ノ結果ニ基キ之カ決定ヲ為スコト

三宮井精

司法省會甲第一一七一號
昭和二年四月六日

司法大臣官房會計課長 近藤三郎
大藏省理財局長 富田男太郎 殿

自動車貸付ノ件ニ付照會

當省所管裁判所。審判所用トシテ貸付可相成賠償金特別會計所屬自動車
四拾參臺ハ本年八月末日迄ニ當省ニ交付相成候様御手配相煩度尙右自動車
車備付箇所ハ別紙ノ通ニ有之候條御了知被下度候

附錄甲

大藏省

三宮井精

東京	千葉	水戸	宇都宮	前橋	群馬	中野	長野	新潟	京都	大阪	神戸	奈良	和歌山
地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一
徳島	高松	高知	名古屋	安曇	福井	金澤	富山	廣島	山口	岡山	松江	松江	長崎
地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方	地方
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

大藏省

B-0276

附録乙

名 樹 車 別	製 造 會 社	型 式	年 式	馬 力 (管 線 機)	氣 筒 直 徑	氣 筒 直 徑	氣 筒 直 徑	輪 胎 直 徑	價 格 東 京 渡 シ
メルセデス・ベンツ	メルセデス・ベンツ會社	一九二七年式	一 三 〇 〇	一 三 〇 〇	一 三 〇 〇	一 三 〇 〇	三 〇 四 三	一、七五〇弗 五八五〇	
プロトス	プロトス自動車工場	一九二七年式	一 三 〇 〇	一 三 〇 〇	一 三 〇 〇	一 三 〇 〇	三 〇 三 〇	三、〇四〇弗 七六五〇	

始自製車元比較表 昭和三年七月

二二宮井納

大 藏 省

旭 川 地 方	函 館 地 方	札 幌 地 方	青 森 地 方	秋 田 地 方	山 形 地 方	福 島 地 方	仙 臺 地 方	宮 崎 地 方	鹿 兒 島 地 方	熊 本 地 方	大 分 地 方
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	------------------	------------------

大 藏 省

二二宮井納

B-0276

司法省自動車探察上積りタル要件

- 一、犯罪捜査上地形ノ不良並ニ多少ノ瑕路ヲ自由ニ突破シ得ル爲メ馬力ノ強大ヲ要スルコト
- 二、速力ノ大ナルコト
- 三、本邦各地方ノ道路ノ關係ヲ顧慮シ成ル可ク「ホイールベース」ノ短カク輕快ニシテ廻轉容易ナルヲ要スルコト

大 藏 省

B-0276

議題及議事

議題第四賠償勘定ニ依リ獨逸圖書ヲ購入シ各大學ニ

分割保管セシムルノ件

賠償勘定ヲ利用スル獨逸圖書ノ購入ニ付テハ各官廳並東京及京都兩大學ノ希望申出ニ應シ現在手續進捗中

ノモ、
イ各官廳關係分一般圖書五万一千麻オステルリト

文庫三万二千麻計八万三千麻

ロ東京帝大關係分一般圖書十萬麻レエ一テ文庫二萬

麻計十二萬麻

ハ京都帝大關係分一般圖書五萬麻

總計二十五万三千麻ナリ

然ル處他ノ各大學ヨリモ同様賠償圖書保管方ヲ希望スルモノ續出スル現状ナルヲ以テ此ノ際一定ノ標準ニ依ル金額ヲ各大學ニ割當テ右割當金額ノ限度内ニ於テ各大學ノ希望スル一般圖書又ハ特殊文庫ヲ賠償勘定ヲ利用シ當特別會計ニ於テ購入シ之ヲ各大學ニ無償ニテ保管セシムルコトトシ而シテ各大學ニ對スル割當額ノ限度ハ本年九月ヨリ開始スルド一ス第四年度分ニ付テハ從來ノ不均衡ヲ補フ意味ニ於テ各大學共一率ニ五萬麻宛即チ東京京都東北九州北海道及京城ノ六大學ニ付合計三十萬麻トスルコト適當ト認メ左ノ通り決議アリ

決議

賠償勘定ニ依リ獨逸圖書ヲ購入シ各大學ニ
分割保管セシムルノ件
賠償勘定ヲ利用シ各大學ノ希望スル圖書ヲ購入シ之
ヲ各大學ニ無償ニテ保管セシムルコト
各大學ニ對スル圖書購入割當額ノ限度ハ「トース」第四
年度分ニ付テハ各大學共一率ニ五万麻トスルコト

B-0276

賠秘第六八號

昭和二年五月二十八日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳一郎



委員

外務書記官 栗山 茂殿

通商局長

一カ
二カ
湯野
菅原

昭和二年五月二十五日第二十二回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付

右議題並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閲相成度此段奉希候

大藏省

B-0276

(庫)昭和二年五月二十五日

賠償物件處理委員會第二十二回會議々題及決議錄

大藏省理財司

B-0276

昭和二年五月二十三日
決裁済二十五日

賠償物件處理委員會第二十二回會議

(本件ハ時期切迫セルニ付書面持廻ヲ以
テ會議ニ代フルコト、致シ度)

幹事 大藏事務官 西村淳一郎

會長 大藏次官 黒田英雄
委員 外務省條約局長 佐分利貞雄
外務書記官 栗山茂

委員 大藏省理財局長 富田勇太郎
大藏書記官 津島壽一
文部省專門學務局長 西山政猪
商工省商務局長 副島千八
商工書記官 村井四郎
逓信省管船局長 宮崎清則
逓信書記官侯爵 廣幡忠隆

第二十二回賠償物件處理委員會議題及決議
議題 第三回對獨賠償債權讓渡ニ関スル件

議題說明

今般石井大使ヨリ別紙甲ノ通り來電アリ其ノ要旨ハ獨逸内ニ於テ「ド」ス年次金第四五年ノ支拂ヲ不能ナリトシ之カ變更ヲ要求セムトスル政策近來益々有カトナレルカ其ノ主ナル理由ノ一トシテ聯合國側ハ獨逸ノ支拂ヲ年次金ヲ獨逸國外ニ移送シ能ハサルコトヲ唱ヘ居レリ然ルニ事實上聯合國側ハ毎年度末ニ於テ相當額ノ「ド」ス年次金未使用額ヲ残存シ居レルニ付支拂管理人ハ右ノ論旨ヲ成ル可ク回避セムカ爲ニ各聯合國ニ對シ本年度ノ債權殘額ヲ八月末迄ニ利用シ盡サムコトヲ希望

シ來レルニ付テハ本邦ニ於テモ差支ヘ無キ限以支拂管理人ノ希望ニ付相當配慮アリ度シト云フニ在リ然ル處本邦ノ本年八月末ニ於ケル未使用債權殘額ハ別紙乙ノ通り約ニ百方麻ヲ存スルヲ以テ右殘額ヲ處分スル爲此ノ際左記方法ニ依リ第三回對獨賠償債權讓渡ヲ行フコトヲ適當トスヘシ

- 一 第三回對獨賠償債權讓渡額ハニ百方麻トスルコト
- 二 第三回對獨賠償債權讓渡ニ関スル大藏省告示別紙丙参照ヲ官報ニ掲載スルコト
- 三 賠償爲替手形ノ交付時期ハ本年六月以降八月末迄トスルコト
- 四 債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨ

リ一箇年以内トスルコト

(五) 前各號ノ場合ヲ除クノ外第三回對獨賠償債權讓渡ニ
関スル方法並條件等ハ第二回債權讓渡ノ場合ノ前例

ニ依ルコト

而シテ右ノ大藏省告示ニ基ク債權讓渡申請額ヲ債權讓
渡豫定額ヲ超過スル場合ニ於テハ各申請會社ニ對スル
讓渡額ノ割當ニ付テハ前回ノ例ニ依リ各申請額ノ割合
ト各對獨輸入取扱額ノ割合トノ平均割合ヲ標準トシテ
讓渡豫定額ニ百万麻ヲ按分スルコト、致シ度

決議

ニ百万麻ヲ限度トシ第三回對獨賠償債權ノ讓渡ヲ行フ
コト
右実行ノ方法並條件等ハ第二回對獨賠償債權讓渡ノ場

合ノ前例ニ依ルコト

七〇五一 暗 本巴里

五月二十日前着

石井大使

田中外務大臣

第一七四號ノ一
賠償第四九三號

一 賠償支拂管理人ヨリ山路ニ左記申出アリ
トリス年金第四五年ノ支拂ヲ不能ナリトシテ之カ更
更ヲ要求セントスル政策近來獨逸内ニ益々有力トナ
リツヽアリ其主タル理由ノ一トシテ聯合國カ支拂管
理人保管ノ資金ヲ現金又ハ實物辨濟ニテ獨逸國外ニ
移送ニ能ハサルコトヲ唱ヘ居レリ然ルニ事實上契約
履行ノ遲滯其他ニ依リ常ニ相當ノ金額残存ニ居ルニ

別紙甲

付右ノ論旨ヲナルヘク回避セニカ爲ニ支拂管理人ハ
各聯合國ニ對シ本年度ノ債權殘額全部ヲ八月迄ニ利
用シ盡サニコトヲ希望ス而シテ八月ニ於ケル現金[?]支
拂ハ約一億金馬克ノ豫定ニシテ其各國割當額モ四月
ノ場合ト殆ト同様ナルヘキヲ以テ現金分配ニ關與セ
ニカ爲其見込額ヲ留保シテ殘[?]額ニ付實物辨濟ヲ受ク
ルコトト計畫セハ若シ七月頃ニ至リテ萬一爲替委實
會カ現金支拂不能ナリト決定セル場合ニ實物辨濟ニ
付直ニ相當額ノ手形ヲ振出シ得ル様例ヘハ未引渡物
品ニ對スル前拂ノ如キ方法ニテ取計ハルレハ尚好都合
ナリ

七〇五二 暗本里

五月二十日前着

石井大使

田中外務大臣

第一七四號ノ二

(一) 本邦ハ債権額少クシテ各月末ニ月割額ヲ使用シ盡ス
 コト困難ナル事情アルニ鑑ミ場合ニ依リ月ノ上旬ニ
 其ノ月末迄ノ債権額ヲ使用シ得ルノ便宜ヲ計ル様支
 拂管理人トノ間ニ内相談成リタル次第モアレハ貴方
 ニ於テ差支無キ限リ(一)ノ希望ニ付相當御配慮ヲ請フ
 (二) 追テ本邦四月末債権額ハ三〇〇一五ニニ金麻克四六
 (振出濟ノ賠償手形ノ内賠償第四八七號ノ分ハ未拂ナ
 リ)ニシテ第三年度末迄ノ債権割當豫想額左ノ如シ

五月六〇二、八〇〇金麻克〇〇

六月六〇四、一四三金麻克八四

七月六〇五、四一四金麻克四九

八月一、五三二、〇一五金麻克〇七

(四) 賠償債権國中セルビヤハ實物辨濟ノミニシテ充分其
 賠償權利額迄受領シ居リ目下ノ處現金分配ニ關與セ
 ス之ニ反シ佛國ハ既ニ債権金額ヲ實物辨濟ニスルコ
 ト能ハサル爲鮮カラサル未済債権額ヲ残シ居リ又現
 金支拂額ノ増加セサル限リ英白兩國ハ次年度以降ニ
 於テ賠償金利用ニ相當困難ヲ感スヘシト豫想セラレ

(終リ)

對獨賠償債權本年八月末未使用債權殘額調

債權額	品名		備考
	使用	金額	
昭和二年五月一日ヨリ同年八月末迄ノ債權額 六三四万麻	圖書	二〇万麻	第三回民間債權譲渡豫定額 （以降代金支拂ノ分ナリ）
	オステルリート文庫 レエーテ文庫	三 四	
八月末迄ノ債權額	計	五〇	
八月末餘裕債權額		四三四	
第三回民間債權譲渡豫定額		二〇〇	

別紙乙

備考右ノ外使用費途確定セシモノ司法省自動車分三四万麻、プロイス大庫分
三万麻アルモ實際支拂時期ハ九月以降ノ見込ナルニ付使用額ヨリ除外セリ

大藏省告示第九十一號

對獨賠償債權讓渡ノ件

政府ハ對獨賠償債權中ド一ス年次金餘裕額ニ百万麻ヲ
限度トシ此ノ際之ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコトハ
ナシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ実物引渡規程(大正
十五年三月五日外務省告示第十九號並左記各號ニ定ム
ル所ニ依ルモノトス

- 一、賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上獨逸
商品ノ輸入ニ從事シ且信用アル商人タルコトヲ要ス
- 二、賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額該債權ヲ利
用シ購入セムトスル獨逸商品ノ種類數量價格及其ノ
代金支拂ノ時期並前號ノ資格ヲ具備スル旨ヲ明記シ

別紙丙

タル對獨賠償債權讓渡申請書ヲ大藏省理財司長宛ニ
提出スヘシ

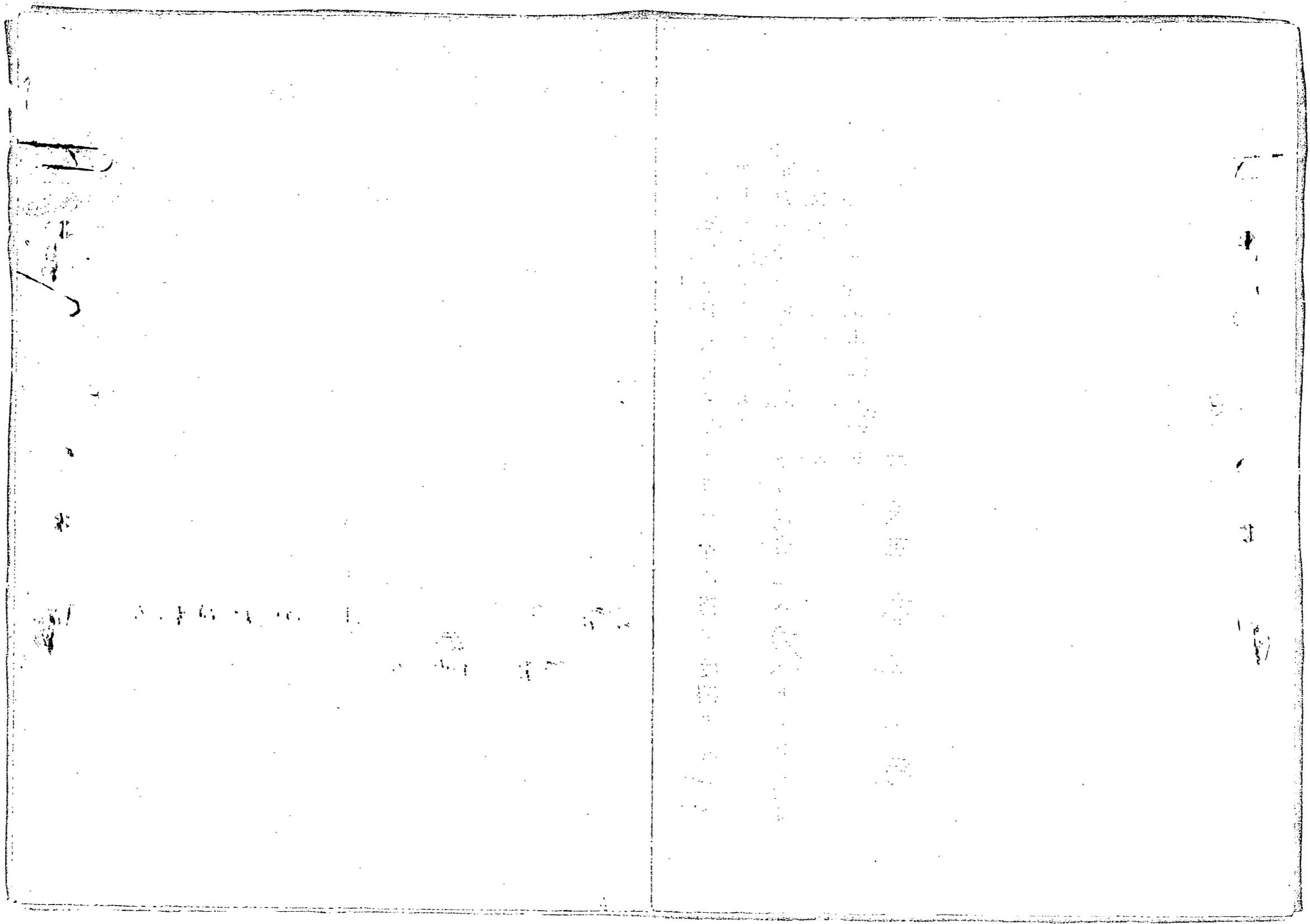
- 三、前號ノ申請書ハ昭和二年六月十日迄ニ提出スルコト
ヲ要ス但シ右期間内ト雖申請額ノ讓渡豫定額ヲ超過
スル場合ニハ申請書ヲ受理セサルコトアルヘシ
- 四、賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國産振興ノ
趣旨ニ反セス且贅澤品ニ非サルモノナルコトヲ要ス
- 五、賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十方麻又ハ其ノ
相當額以上トス
- 六、政府ハ對獨賠償債權讓渡申請書ヲ調査シ大藏省賠償
物件處理委員會ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク
可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル上申請者ト契約ヲ締

結スルモノトス
七、賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振
出ス賠償爲替手形ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス
八、前號ノ賠償爲替手形ノ交付ハ昭和二年六月以降八月
末迄ニ於テ之ヲ行フモノトス
九、賠償爲替手形ハ原則トシテ麻貨ニテ作成ス但シ商品
購入契約カ麻貨以外ノ通貨ニテ表示セラレタルトキ
ハ右通貨ニ依リ作成ス
十、賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償爲替手形ノ金額ヲ其ノ讓
渡契約成立ノ日ニ於ケル横濱正金銀行對外爲替相場
ニ依リ換算シタル邦貨額トス
十一、賠償債權ヲ讓渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ

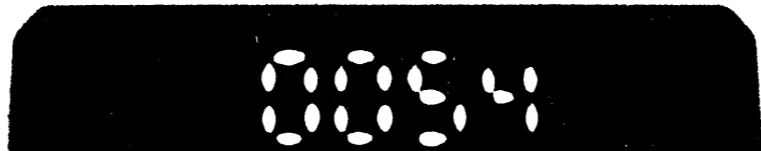
賠償爲替手形交付ノ日ヨリ一年以内ノ延納ヲ認ムル
一トヲ得ルモノトス
十二、前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ國債
ヲ提供セシムルモノトス
昭和二年五月二十六日

大藏大臣 高橋 是清

B-0276



B-0276



賠秘第六八號

昭和二年五月二十八日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳一郎

委員 外務省條約局長 佐分利貞夫 殿



昭和二年五月二十五日第二十二回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付
右議題並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閱相成度此段奉希候

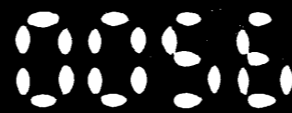
B-0276

(庫)昭和二年五月二十五日

賠償物件處理委員會第二十二回會議々題及決議錄

大藏省理財司

B-0276



昭和二年五月二十三日
決裁済二十五日

賠償物件處理委員會第二十二回會議

(本件ハ時期切迫セルニ付書面持廻ヲ以テ會議ニ代フルコト、致シ度)

幹事 大藏事務官 西村淳一郎

會長 大藏次官 黒田英雄
委員 外務省條約局長 佐分利貞雄
外務書記官 栗山茂

委員 大藏省理財局長 富田勇太郎
大藏書記官 津島壽一
文部省専門學務局長 西山政猪
商工省商務局長 副島千八
商工書記官 村井四郎
逓信省管船局長 宮崎清則
逓信書記官侯爵 廣幡忠隆

B-0276

第二十二回賠償物件處理委員會議題及決議
第三回對獨賠償債權讓渡ニ関スル件

議題說明

今般石井大使ヨリ別紙甲ノ通り來電アリ其ノ要旨ハ獨逸内ニ於テ「ド」ス年次金第四、五年ノ支拂ヲ不能ナリトシ之カ變更ヲ要求セムトスル政策近來益々有カトナレルカ其ノ主ナル理由ノ一トシテ聯合國側ハ獨逸ノ支拂々年次金ヲ獨逸國外ニ移送シ能ハサルコトヲ唱ヘ居レリ然ルニ事實上聯合國側ハ毎年度末ニ於テ相當額ノ「ド」ス年次金未使用額ヲ残存シ居レルニ付支拂管理人ハ右ノ論旨ヲ成ル可ク回避セムカ爲ニ各聯合國ニ對シ本年度ノ債權殘額ヲ八月末迄ニ利用シ盡サムコトヲ希望

シ來レルニ付テハ本邦ニ於テモ差支ヘ無キ限り支拂管理
人ノ希望ニ付相當配慮アリ度シト云フニ在リ
然ル處本邦ノ本年八月末ニ於ケル未使用債權殘額ハ別
紙乙ノ通り約ニ百万麻ヲ存スルヲ以テ右殘額ヲ處分ス
ル爲此ノ際左記方法ニ依リ第三回對獨賠償債權讓渡ヲ
行フコトヲ適當トスヘシ
一 第三回對獨賠償債權讓渡額ハ二百万麻トスルコト
二 第三回對獨賠償債權讓渡ニ関スル大藏省告示別紙丙
参照ヲ官報ニ掲載スルコト
三 賠償爲替手形ノ交付時期ハ本年六月以降八月末迄ト
スルコト
四 債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨ

リ一箇年以内トスルコト

(五) 前各號ノ場合ヲ除クノ外第三回對獨賠償債權讓渡ニ
關スル方法並條件等ハ第二回債權讓渡ノ場合ノ前例

ニ依ルコト

而シテ右ノ大藏省告示ニ基ク債權讓渡申請額ヲ債權讓
渡豫定額ヲ超過スル場合ニ於テハ各申請會社ニ對スル
讓渡額ノ割當ニ付テハ前回ノ例ニ依リ各申請額ノ割合
ト各對獨輸入取扱額ノ割合トノ平均割合ヲ標準トシテ
讓渡豫定額ニ百万麻ヲ按分スルコト、致シ度

決議

ニ百万麻ヲ限度トシ第三回對獨賠償債權ノ讓渡ヲ行フ
コト
右實行ノ方法並條件等ハ第二回對獨賠償債權讓渡ノ場

合ノ前例ニ依ルコト

B-0276

七〇五ハ 暗 本省

五月二十日前着

田中外務大臣

石井大使

第一七四號ノ一
賠償第四九三號

一 賠償支拂管理人ヨリ山路ニ左記申出アリ
トリス年金第四五年ノ支拂ヲ不能ナリトシテ之カ更
更ヲ要求セントスル政策近來獨逸内ニ益々有力トナ
リツ、アリ其主タル理由ノ一トシテ聯合國カ支拂管
理人保管ノ資金ヲ現金又ハ實物辨濟ニテ獨逸國外ニ
移送ニ能ハサルコトヲ唱へ居レリ然ルニ事實上契約
履行ノ遲滯其他ニ依リ常ニ相當ノ金額残存シ居ルニ

別紙甲

付右ノ論旨ヲナルヘク回避セニカ爲ニ支拂管理人ハ
各聯合國ニ對シ本年度ノ債權殘額全部ヲ八月迄ニ利
用シ盡サンコトヲ希望ス而シテ八月ニ於ケル現(金)支
拂ハ約一億金馬克ノ豫定ニシテ其各國割當額モ四月
ノ場合ト殆ト同様ナルヘキヲ以テ現金分配ニ關與セ
ンカ爲其見込額ヲ留保シテ殘(額)ニ付實物辨濟ヲ受ク
ルコトト計畫セハ若シ七月頃ニ至リテ萬一爲替委實
會カ現金支拂不能ナリト決定セル場合ニ實物辨濟ニ
付直ニ相當額ノ手形ヲ振出シ得ル様例ハ未引渡物
品ニ對スル前拂ノ如キ方法ニテ取計ハルレハ尚好都合
ナリ

七〇五二 暗本里

五月二十日前着

田中外務大臣

石井大使

第一七四號ノニ

一) 本邦ハ債権額少クシテ各月末ニ月割額ヲ使用シ盡ス
 コト困難ナル事情アルニ鑑ミ場合ニ依リ月ノ上旬ニ
 其ノ月末迄ノ債権額ヲ使用シ得ルノ便宜ヲ計ル様支
 拂管理人トノ間ニ内相談成リタル次第モアレハ貴方
 ニ於テ差支無キ限リ一ノ希望ニ付相當御配慮ヲ請フ
 二) 追テ本邦四月末債権額ハ三〇〇一五ニニ金麻克四六
 (振出濟ノ賠償手形ノ内賠償第四八七號ノ分ハ未拂ナ
 リ)ニシテ第三年度末迄ノ債権割當豫想額左ノ如シ

五月六〇二、八〇〇金麻克〇〇

六月六〇四、一四三金麻克八四

七月六〇五、四一四金麻克四九

八月一、五三二、〇一五金麻克〇七

四) 賠償債権國中セルピアハ實物辨濟ノミニシテ充分其
 賠償權利額迄受領シ居リ目下ノ處現金分配ニ關與セ
 ス之ニ反シ佛國ハ既ニ債権金額ヲ實物辨濟ニスルコ
 ト能ハサル為鮮カラサレ未済債権額ヲ残シ居リ又現
 金支拂額ノ増加セサル限リ英白兩國ハ次年度以降ニ
 於テ賠償金利用ニ相當困難ヲ感スヘシト豫想セラレ

(終リ)

對獨賠償債權本年八月末未使用債權殘額請

債權額	品名		金額	備考
	使用	未使用		
昭和二年五月一日ヨリ同年八月末迄ノ債權額	圖書	二〇〇	〇	
六三四万麻	オステルリート文庫 レエーテ文庫 第二回民間債權譲渡 八月中現金収入(込)	三 四 三五七 五〇	三 四 三五七 五〇	第四民間債權譲渡額四〇〇万麻内四三万麻本年九月以降代金支拂ノ分ナリ
八月末餘裕債權額	計	二〇〇	四三四	
第三回民間債權譲渡豫定額		二〇〇	二〇〇	

別紙乙

備考 右外使用費途確定セシモノ司法省自動車分三四万麻、プロイス文庫分
二万麻アルモ實際支拂時期ハ九月以降ノ見込ナルニ付使用額ヨリ除外セリ

B-0276

大藏省告示第九十一號

對獨賠償債權讓渡ノ件

政府ハ對獨賠償債權中ト一ス年次金餘裕額ニ百万麻ヲ
限度トシ此ノ際之ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコト、
オシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ実物引渡規程(大正
十五年三月五日外務省告示第十九號)並左記各號ニ定ム
ル所ニ依ルモノトス

- 一、賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上獨逸
商品ノ輸入ニ從事シ且信用アル商人タルコトヲ要ス
- 二、賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額該債權ヲ利
用シ購入セムトスル獨逸商品ノ種類數量價格及其ノ
代金支拂ノ時期並前號ノ資格ヲ具備スル旨ヲ明記シ

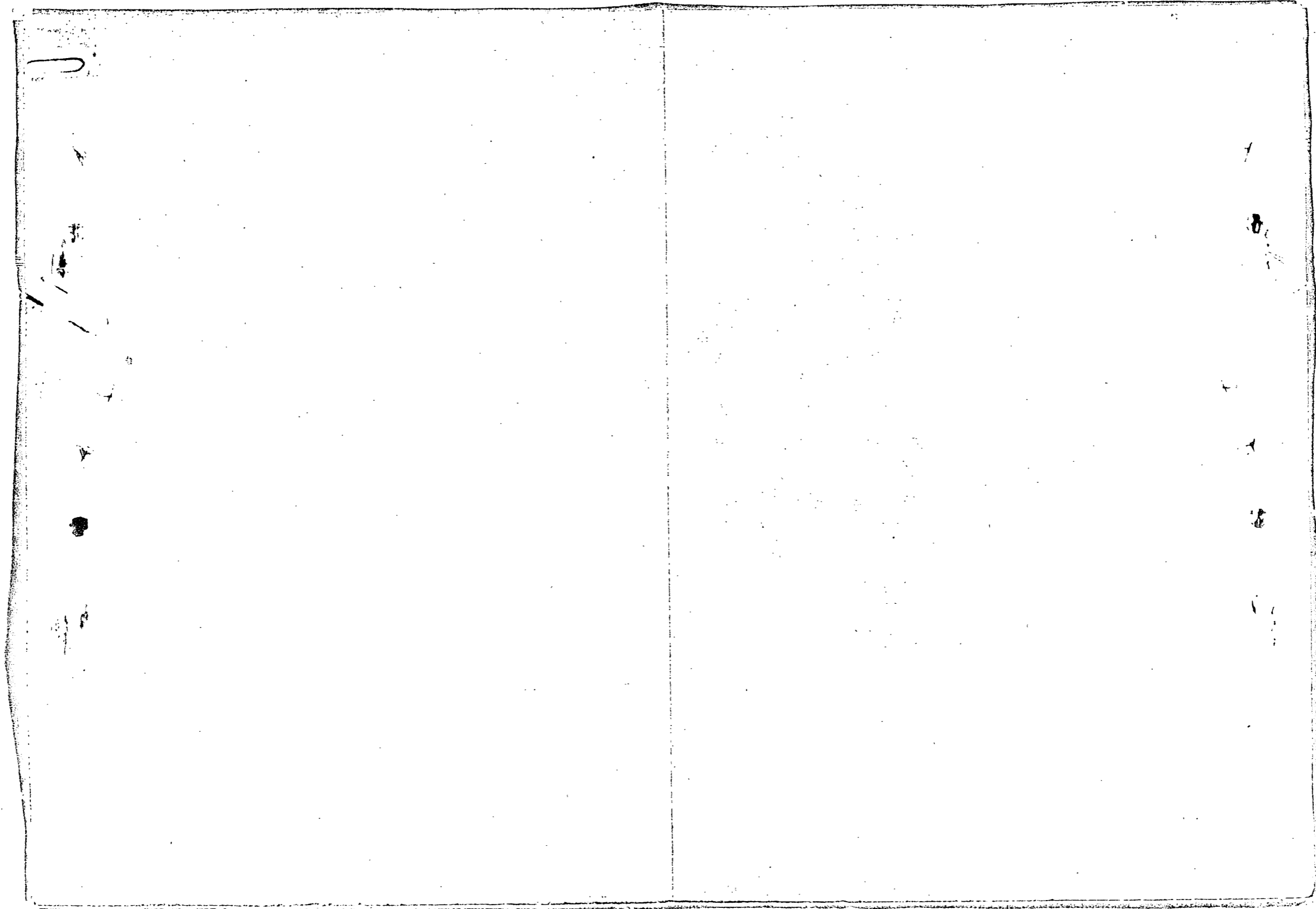
別紙丙

- タル對獨賠償債權讓渡申請書ヲ大藏省理財司長宛ニ
提出スヘシ
- 三、前號ノ申請書ハ昭和ニ年六月十日迄ニ提出スルコト
ヲ要ス但シ右期間内ト雖申請額カ讓渡豫定額ヲ超過
スル場合ニハ申請書ヲ受理セサルコトアルヘシ
- 四、賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國産振興ノ
趣旨ニ及セス且贅澤品ニ非サルモノナルコトヲ要ス
- 五、賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十方麻又ハ其ノ
相當額以上トス
- 六、政府ハ對獨賠償債權讓渡申請書ヲ調査シ大藏省賠償
物件處理委員會ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク
可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル上申請者ト契約ヲ締

結スルモノトス
七、賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振
出ス賠償為替手形ノ交付ニ依リ之ヲ行ケモノトス
八、前號ノ賠償為替手形ノ交付ハ昭和二年六月以降八月
末迄ニ於テ之ヲ行フモノトス
九、賠償為替手形ハ原則トシテ麻貨ニテ作成ス但シ商品
購入契約カ麻貨以外ノ通貨ニテ表示セラレタルトキ
ハ右通貨ニ依リ作成ス
十、賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償為替手形ノ金額ヲ其ノ讓
渡契約成立ノ日ニ於ケル横濱正金銀行對外為替相場
ニ依リ換算シタル邦貨額トス
十一、賠償債權ヲ讓渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ

賠償為替手形交付ノ日ヨリ一年以内ノ延納ヲ認ムル
トトヲ得ルモノトス
十二、前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ國債
ヲ提供セシムルモノトス
昭和二年五月二十六日

大藏大臣 高橋是清



B-0276



條約

賠
償
物
件
九
三
號

昭和貳年八月廿參日接受

條
2.8.23
3

附
書
添
附

二二宮井初

昭和二年八月十九日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳一

賠償物件
處理委員會
大藏事務官
西村 淳一

委員

外務省條約局長 佐分利 貞夫殿

300.R221103
昭和二年八月十六日第二十三回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付右
議題並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閱相成度此致奉希候

大 藏 省

二二宮井初

第二十三回賠償物件處理委員會議題及決議
議題 官應用自動車購入ニ關スル件

議題説明

裁判所及審判所用トシテ自動車四十三臺ヲ賠償勘定ヲ利用シテ購入ノ上
司法省ニ對シ貸付クル件ニ關シテハ第二十一回賠償物件處理委員會ニ於
テ判選ヨリ到着スヘキ見本ニ付實地試験ヲ行ヒ其ノ結果ニ基キ購入ス可
キ自動車ノ種類ヲ決定スヘキ旨ノ決議有之タル處今般「プロトス」及「
マセヂス、ペンツ」見本各一臺宛到着シタルニ付司法省ニ於テ實地ニ比
較研究ヲ遂ケタル結果別紙添付ノ通り四十三臺中概型「プロトス」參拾
八臺、概型「マセヂス、ペンツ」五臺ヲ購入アリ度旨申出有之タルニ付
テハ右司法省ノ申出通り承認スルコトト致シ度

決議

司法省ニ對シ貸付クル爲賠償勘定ニ依リ購入ス可キ自動車ノ種類及臺數
ハ概型「プロトス」參拾八臺及概型「マセヂス、ペンツ」五臺トスルコ
ト

大 藏 省

B-0276

司法省會甲第二九一四號

昭和二年七月二十六日

司法大臣官房會計課長 近藤三郎

大藏省理財局長 高田 勇太郎殿

當省所管裁判所審判所用トシテ貸付可相成賠償金特別會計所屬自動車四十
三臺中現形「プロトス」號參拾八臺、現形「マ」セアスベント」號五臺御
配付相成庶尙ホ豫算ノ關係モ有之候ニ付之カ借受料ノ點ニ關シテモ特ニ低
額ニテ御貸付相成候様御配意煩度及御照會候也

別紙

大藏省

(三三一九)

三三三

4th year 17億 9,800,000
5th year 25 15,000,000

第二十五回賠償物件處理委員會議題

議題第一、第四回賠償債權民間譲渡ニ關スル件

議題説明

本邦ニ割當テラレタル對獨船賠償債權ノ純殘高ハ本年三月末現在三百八萬
圓、四月末現在四百六十六萬圓、五月末現在五百三十四萬圓ノ見込ナル
ニ付テハ此ノ際左記ニ依リ第四回賠償債權民間譲渡ヲ行フコトヲ適當ト
スヘシ

(一) 第四回賠償債權譲渡額ハ五百萬圓ヲ限度トスルコト

(二) 第四回賠償債權譲渡ノ發表ハ三月中ニ之ヲ行フコトトシ右ニ關スル大

藏省告示(附録參照)ヲ官報ニ掲載スルコト

(三) 賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト

大藏省

B-0276

三二宮非精

④賠償債權ヲ利用シテ購入シタル獨逸商品ノ海上運送ニ付テハ成ル可ク
本邦船舶ヲ利用セシムルコト

⑤賠償債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ一箇年以内
トスルコト

⑥其ノ他ノ條件並方法ニ付テハ従前ノ賠償債權民間讓渡ノ場合ニ於ケル
前例ニ依ルコト

決議(案)

第四回賠償債權民間讓渡ニ關スル件

五百萬圓ヲ限度トシ第四回賠償債權民間讓渡ヲ行フコト

右實行ノ條件並方法ニ付テハ大体従前ノ賠償債權民間讓渡ノ場合ニ於ケ
ル前例ニ依ルコト

大 藏 省

三二宮非精

大藏省告示第 號

對獨賠償債權讓渡ノ件

政府ハ對獨賠償債權中トズ年次金餘裕額五百萬圓ヲ限度トシ此ノ際之
ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコトトナシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ
實物引渡規程(大正十五年三月五日外務省告示第十九號)並左記各號ニ
定ムル所ニ依ルモノトス

一、賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上發運商品ノ輸入ニ從
事シ且信用アル商人タルコトヲ要ス

二、賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額、該債權ヲ利用シ購入セム
トスル獨逸商品ノ種類數量價格及其ノ代金支拂ノ時期並前號ノ資格
ヲ具備スル旨ヲ明記シタル對獨賠償債權讓渡申請書ヲ大藏省理財局
長宛ニ提出スヘシ

三、前號ノ申請書ハ昭和三年四月二十日迄ニ提出スルコトヲ要ス但シ右
期間内ト雖申請額カ讓渡豫定額ヲ超過スル場合ニハ申請書ヲ受理セ

大 藏 省

參照

B-0276

サルコトアルヘシ

四、賠償債權ヲ利用シテ購入スル製造商品ハ國産振興ノ趣旨ニ反セス且資
 澤品ニ非サルモノナルコトヲ要ス

五、賠償債權譲渡額ハ原則トシテ一契約十萬圓又ハ其ノ相當額以上トス

六、政府ハ對該賠償債權譲渡申請書ヲ調査シ大藏省賠償物件處理委員會ノ
 審議ニ附シ賠償債權ノ譲渡ヲ受ク可キ者並該資金額ヲ決定シタル上申
 請者ト契約ヲ締結スルモノトス

七、賠償債權ノ譲渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ提出ス賠償爲替手形
 ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス

八、前號ノ賠償爲替手形ノ交付ハ昭和三年六月以降ニ於テ之ヲ行フモノト
 ス

九、賠償爲替手形ハ原則トシテ現貨ニテ作成ス但シ商品購入契約カ現貨以
 外ノ預貨ニテ表示セラレタルトキハ右預貨ニ依リ作成ス

十、賠償債權譲渡ノ代金ハ賠償爲替手形ノ金額ヲ其ノ譲渡契約成立ノ日ニ

大藏省

於ケル横濱正金銀行對外爲替相場ニ依リ換算シタル邦貨額トス

十一、賠償債權ヲ譲渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ賠償爲替手形交付
 ノ日ヨリ一年以内ノ延納ヲ認ムルコトヲ得ルモノトス

十二、前號ニ依リ延納ヲ認めタル場合ニハ擔保トシテ國債ヲ提供セシムルモ
 ノトス

昭和三年 月 日

大藏大臣

大藏省

B-0276

救世金、資力不足のため
 契約期限を一年に延長
 大蔵省の承認を得るため
 協議を要す

議題第二、光文丸貸下契約更新ニ關スル件
 議題説明

光文丸ノ現貸下契約ハ本年四月二十八日ヲ以テ満期ト成ルニ付テハ此ノ際更ニ管理希望者ヲ募リ大體ニ於テ有利ナル申出人ニ對シ期限一ケ年ノ貸下契約ヲ締結スルコト並右管理希望者募集手續ニ付テハ前例ニ依リ親信省ニ依頼スルコトヲ適當トスヘシ

決議（案）

光文丸貸下契約更新ニ關スル件
 光文丸ノ現貸下契約ハ近ク満期トナルニ付更ニ管理希望者ヲ募リ大體ニ於テ有利ナル申出人ニ對シ期限一ケ年ノ貸下契約ヲ締結スルコト
 右管理希望者募集手續方ニ付テハ親信省ニ依頼スルコト

吉野 七〇〇 林
 五、一五七 坂
 建送后十年
 三三

大 藏 省

第九三號

昭和二年八月十九日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳

關係員

外務事務官 佐々木 勝三郎殿



昭和二年八月十六日第二十三回賠償物件處理委員會決議有之候ニ付右
 議程並ニ決議等別紙ノ通り及送付候條御査閱相成度此致奉着候

大 藏 省

B-0276

第二十三回賠償物件處理委員會議題及決議
議題 官應用自動車購入ニ關スル件

議題說明

裁判所及審判所用トシテ自動車四十三臺ヲ賠償勘定ヲ利用シテ購入ノ上
司法省ニ對シ貸付クル件ニ關シテハ第二十一回賠償物件處理委員會ニ於
テ猶逸ヨリ到着スヘキ見本ニ付實地試験ヲ行ヒ其ノ結果ニ基キ購入ス可
キ自動車ノ種類ヲ決定スヘキ旨ノ決議有之タル處今般「プロトス」及「
マセデス、ベンツ」見本各一臺宛到着シタルニ付司法省ニ於テ實地ニ比
較研究ヲ遂ケタル結果別紙添付ノ通り四十三臺中幌型「プロトス」參拾
八臺、幌型「マセデス、ベンツ」五臺ヲ購入アリ度旨申出有之タルニ付
テハ右司法省ノ申出通り承認スルコトト致シ度

決議

司法省ニ對シ貸付クル爲賠償勘定ニ依リ購入ス可キ自動車ノ種類及臺數
ハ幌型「プロトス」參拾八臺及幌型「マセデス、ベンツ」五臺トスルコ
ト

大藏省

司法省會甲第二九一四號

昭和二年七月二十六日

司法大臣官房會計課長 近藤三郎

大藏省理財局長 高田勇太郎殿

當省所管裁判所審判所用トシテ貸付可相成賠償金特別會計所屬自動車四十
三臺中幌型「プロトス」號參拾八臺、幌型「マセデス、ベンツ」號五臺御
配付相成庶尙ホ豫算ノ關係モ有之候ニ付之カ借受料ノ點ニ關シテモ特ニ低
額ニテ御貸付相成候様御配意煩度及御照會候也

別紙

大藏省

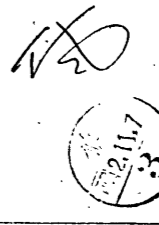
條約局

賠款第一一八號

昭和二年十一月四日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳一郎



二二五番印

外務事務官 佐々木勝二郎殿

第二十四回賠償物件處理委員會決議報告ノ件

十一月二日第二十四回賠償物件處理委員會ニ於テ別紙ノ所決議有之候ニ付此段及報告候也

大藏省

310.R221103

二二五番印

(庫) 昭和二年十一月四日

第二十四回賠償物件處理委員會決議錄

大藏省理財局

大藏省

B-0276

第二十四回賠償物件處理委員會議題及決議
議題 司法省關係獨逸圖書購入ニ關スル件

議題說明

今般司法省ヨリ同省附屬司法研究室ヲ新營シ圖書館的設備ヲ爲シ一般司法官ヲシテ研究ノ便宜ヲ得セシムルコト成リタルニ付テハ同室備付トシテ別冊目錄(目錄ハ大部ニ付回覽ヲ廢ス)ノ獨逸圖書(價額約十萬圓)ヲ賠償勘定ニテ購入ノ上同所ニ保管セシメラレ度旨申出有之タル處右研究室ハ「コンクリート」造リニテ圖書保管上適當ノ設備ト認メラルルノミナラス同所ニ獨逸法律書ヲ取纏メ保管シ置クコトハ各省ノ利用上ニモ便益多キ次第ナルヲ以テ右申出ハ之ヲ承認スルコト致シ度尤モ申出金額十萬圓ハ同所ノ設備ニ鑑ミ稍多額ニ失スルヲ以テ獨貨十萬圓ニ査定スルコト致シ度

大藏省

決議

賠償勘定ヲ利用シ司法省希望圖書(價額十萬圓ヲ限度トス)ヲ購入ノ上同省ニ對シ之カ保管ヲ爲サシムルコト

大藏省

B-0276

参
照

本年十一月一日現在本邦債権殘高八百二十六萬圓ナリ

三二宮非結

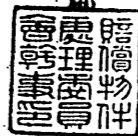
大
藏
省

B-0276

第一五號

昭和三年三月十四日

賠償物件處理委員會幹事 西村淳一 郎



本員外務書記官三谷隆信殿

三月十九日（月曜）午前十時ヨリ本省内大臣應接室ニ於テ賠償物件處理委員會第二十五回會議別紙議題ニ關シ開催致度ニ付御出席板下度此段及廻膝候也

大藏省

議題

- 第一、第四回賠償債權民間譲渡ニ關スル件
- 第二、光文丸貸下契約更新ニ關スル件

大藏省

B-0276

第二十五回賠償物件處理委員會議程

議題第一。第四回賠償債權民間譲渡ニ關スル件

議題説明

本邦ニ被害テラレタル船舶賠償債權ノ總額高ハ本年三月末現在三百八萬
圓、四月末現在四百六十六萬圓、五月末現在五百三十四萬圓ノ見込ナル
ニ付テハ此ノ際左記ニ依リ第四回賠償債權民間譲渡ヲ行フコトヲ適當ト
スヘシ

(一) 第四回賠償債權譲渡額ハ五百萬圓ヲ限度トスルコト

(二) 第四回賠償債權譲渡ノ發表ハ三月中ニ之ヲ行フコトトシ右ニ關スル大

藏省告示(附録参照)ヲ官報ニ掲載スルコト

(三) 賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト

大藏省

8.3.16 3

8.3.16 3

三三宮井

(四) 賠償債權ヲ利用シテ購入シタル逸品ノ海上運送ニ付テハ取ル可ク
本邦船舶ヲ利用セシムルコト

(五) 賠償債權譲渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日より一箇年以内
トスルコト

(六) 其ノ他ノ條件並方法ニ付テハ従前ノ賠償債權民間譲渡ノ場合ニ於ケル
前例ニ依ルコト

決議(案)

第四回賠償債權民間譲渡ニ關スル件

五百萬圓ヲ限度トシ第四回賠償債權民間譲渡ヲ行フコト

右實行ノ條件並方法ニ付テハ大体従前ノ賠償債權民間譲渡ノ場合ニ於ケ
ル前例ニ依ルコト

大藏省

B-0276

大藏省告示第 號

對獨賠償債權讓渡ノ件

政府ハ對獨賠償債權中ト一ズ年次金餘裕額五百萬圓ヲ限度トシ此ノ際之ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコトトナシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ實物引渡規程（大正十五年三月五日外務省告示第十九號）並左記各號ニ定ムル所ニ依ルモノトス

一、賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上ヲ遡逸商品ノ輸入ニ從事シ且信用アル商人タルコトヲ要ス

二、賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額、該債權ヲ利用シ購入セムトスル獨逸商品ノ種類數量價格及其ノ代金支拂ノ時期並前號ノ價格ヲ具備スル旨ヲ明記シタル對獨賠償債權讓渡申請書ヲ大藏省理財局長宛ニ提出スヘシ

三、前號ノ申請書ハ昭和三年四月二十日迄ニ提出スルコトヲ要ス但シ右期間内ト雖申請額カ讓渡豫定額ヲ超過スル場合ニハ申請書ヲ受理セ

大藏省

三二五第納

サルコトアルヘシ

四、賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國產振興ノ趣旨ニ反セス且贅澤品ニ非サルモノナルコトヲ要ス

五、賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十萬圓又ハ其ノ相當額以上トス

六、政府ハ對獨賠償債權讓渡申請書ヲ調査シ大藏省賠償物件處理委員會ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル上申請者ト契約ヲ締結スルモノトス

七、賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振出ス賠償爲替手形ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス

八、前號ノ賠償爲替手形ノ交付ハ昭和三年六月以降ニ於テ之ヲ行フモノトス

九、賠償爲替手形ハ原則トシテ寶貨ニテ作成ス但シ商品購入契約カ寶貨以外ノ通貨ニテ表示セラレタルトキハ右通貨ニ依リ作成ス

十、賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償爲替手形ノ金額ヲ其ノ讓渡契約成立ノ日ニ

大藏省

三二五第納

於ケル横濱正金銀行對外爲替相場ニ依リ換算シタル邦貨額トス
上、船價假借ヲ騰渡ンタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ船價爲替手形交付
ノ日ヨリ一年以内ニ延納ヲ認ムルコトヲ得ルモノトス
十二、前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ割債ヲ提供セシムルニ
ノトス

昭和三年 月 日

大藏大臣

大藏省

B-0276

議題第二、光文丸貸下契約更新ニ關スル件

議題説明

光文丸ノ現貸下契約ハ本年四月二十八日ヲ以テ滿期ト成ルニ付テハ此ノ際更ニ管理希望者ヲ募リ大體ニ於テ有利ナル申出人ニ對シ期限一ケ年ノ貸下契約ヲ締結スルコト並右管理希望者募集手続ニ付テハ前例ニ依リ郵便省ニ依頼スルコトヲ適當トスヘシ

決議(案)

光文丸貸下契約更新ニ關スル件

光文丸ノ現貸下契約ハ近ク滿期トナルニ付更ニ管理希望者ヲ募リ大體ニ於テ有利ナル申出人ニ對シ期限一ケ年ノ貸下契約ヲ締結スルコト
右管理希望者募集手続方ニ付テハ郵便省ニ依頼スルコト

大 藏 省

B-0276

新編 皇朝通志 卷之...

以法...

亦皆無所遺也...

領文亦即...

領文或...

領文或...

（一）

領文或...

領文或...

領文或...

領文或...

（二）

領文或...

B-0276

二三宮井納

第一八號

本月十九日賠償物件處理委員會第二十五回會議議事錄別紙ノ通調製致候
ニ付及送付候條御査閱相成度尙御意見有之候ハハ折返御垂示被下度此段
奉希候

敬具

昭和三年三月二十八日

賠償物件處理委員會幹事
大藏事務官 西村 淳一郎



委員
外務書記官 三谷隆信 殿

大藏省

B-0276

昭和三年三月十九日

賠償物件處理委員會第二十五回會議々事録

大藏省理財局

第二十六回ハ債償處理部ニシテ

B-0276

賠償物件處理委員會第二十五回會議々事録

昭和三年三月十九日午前十時十分開會——十一時閉會

出席者 會長 大藏 次官 黒田 英雄

委員 外務省條約局長 松永直吉

外務省書記官 三谷 隆信

大藏省理財局長 富田 勇太郎

文部省専門學務局長 西山 政猪

商工省商務局長 副島 千八

遞信省管船局長 宮崎 清則

遞信省書記官 長川 豊樹

幹事 大藏 事務官 西村 淳一郎

書記 大藏 屬 村松 光次

議題及議事

議題第一、第四回賠償債權民間讓渡ニ関スル件

本邦ニ割當テラレタル對獨賠償債權ノ純残高ハ本年

三月末現在三百八万麻、四月末現在四百六十六万麻、五月

末現在五百三十四万麻ノ見込ナルニ付テハ此ノ際左記

ニ依リ第四回賠償債權民間讓渡ヲ行フコトヲ適當トス

ヘシ

(一) 第四回賠償債權讓渡額ハ五百万麻ヲ限度トスルコ

ト

(二) 第四回賠償債權讓渡ノ發表ハ三月中ニ之ヲ行フコ

ト、シ右ニ関スル大藏省告示(附録参照)ヲ官報ニ掲載

スルコト

B-0276

- (三) 賠償爲替手形交付ノ時期ハ本年六月以降トスルコト
- (四) 賠償債權ヲ利用シテ購入シタル獨逸商品ノ海上運送ニ付テハ成ル可ク本邦船舶ヲ利用セシムルコト但シ本條件ハ之ヲ外部ニ發表セサルコト
- (五) 賠償債權讓渡代金ノ延納期限ハ賠償爲替手形交付ノ日ヨリ一ケ年以内トスルコト
- (六) 其ノ他ノ條件並方法ニ付テハ従前ノ賠償債權民間讓渡ノ場合ニ於ケル前例ニ依ルコト

決議

第四回賠償債權民間讓渡ニ関スル件

五百万ヲ麻ヲ限度トシ第四回賠償債權民間讓渡ヲ行フコト
 右実行ノ條件並方法ニ付テハ大体従前ノ賠償債權民間讓渡ノ場合ニ於ケル前例ニ依ルコト

大藏省告示第四十九號

對獨賠償債權讓渡ノ件

政府ハ對獨賠償債權中ドーズ年次金餘額五百萬麻ヲ
限度トシ此ノ際之ヲ民間希望者ニ對シ讓渡スルコトト
ナシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ實物引渡規程大正
十五年三月五日外務省告示第十九號並九記各號ニ定ム
ル所ニ依ルモノトス

一、賠償債權ノ讓渡ヲ受ケ得ル者ハ引續キ三年以上
獨逸商品ノ輸入ニ從事シ且信用アル商人タルコト
ヲ要ス

二、賠償債權ノ讓渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額該債權
ヲ利用シ購入セハトスル獨逸商品ノ種類數量價格

附錄

及其ノ代金支拂ノ時期並前號ノ資格ヲ具備スル旨
ヲ明記シタル對獨賠償債權讓渡申請書ヲ大藏省理財
局宛ニ提出スヘシ

三、前號ノ申請書ハ昭和三年四月二十日迄ニ提出スル
コトヲ要ス但シ右期間内ト雖申請額カ讓渡豫定額
ヲ超過スル場合ニハ申請書ヲ受理セサルコトアル
ヘシ

四、賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國産振
興ノ趣旨ニ反セス且贅澤品ニ非サルモノナルコト
ヲ要ス

五、賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十萬麻又ハ
其ノ相當額以上トス

- 六 政府ハ對独賠償債讓渡申請書ヲ調査シ大藏省賠償物件處理委員會ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル上申請者ト契約ヲ締結スルモノトス
- 七 賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振出不賠償為替手形ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス
- 八 前號ノ賠償為替手形ノ交付ハ昭和三年六月以降ニ於テ之ヲ行フモノトス
- 九 賠償為替手形ハ原則トシテ麻貨ニテ作成ス但シニ商品購入契約カ麻貨以外ノ通貨ニテ表示セラレタルトキハ右通貨ニ依リ作成ス
- 十 賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償為替手形ノ金額ヲ其ノ讓渡契約成立ノ日ニ於ケル横濱正金銀行對外為替相場ニ依リ換算シタル邦貨額トス
- 十一 賠償債權ヲ讓渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ賠償為替手形交付ノ日ヨリ一年以内ノ延納ヲ認ムルコトヲ得ルモノトス
- 十二 前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ國債ヲ提供セシムルモノトス

昭和三年 月 日

大藏大臣

B-0276

議題第六 光文丸貸下契約更新ニ関スル件

光文丸ノ現貸下契約ハ本年四月二十八日ヲ以テ満期ト成ルニ付テハ此ノ際更ニ管理希望者ヲ募リ大體ニ於テ有利ナル申出ルニ對シ期限一ケ年ノ貸下契約ヲ締結スルコト並右管理希望者募集手續ニ付テハ前例ニ依リ遞信省ニ依頼スルコトヲ適當ト認メラルルニ付茲ノ通り決議アリタリ

決議

光文丸貸下契約更新ニ関スル件

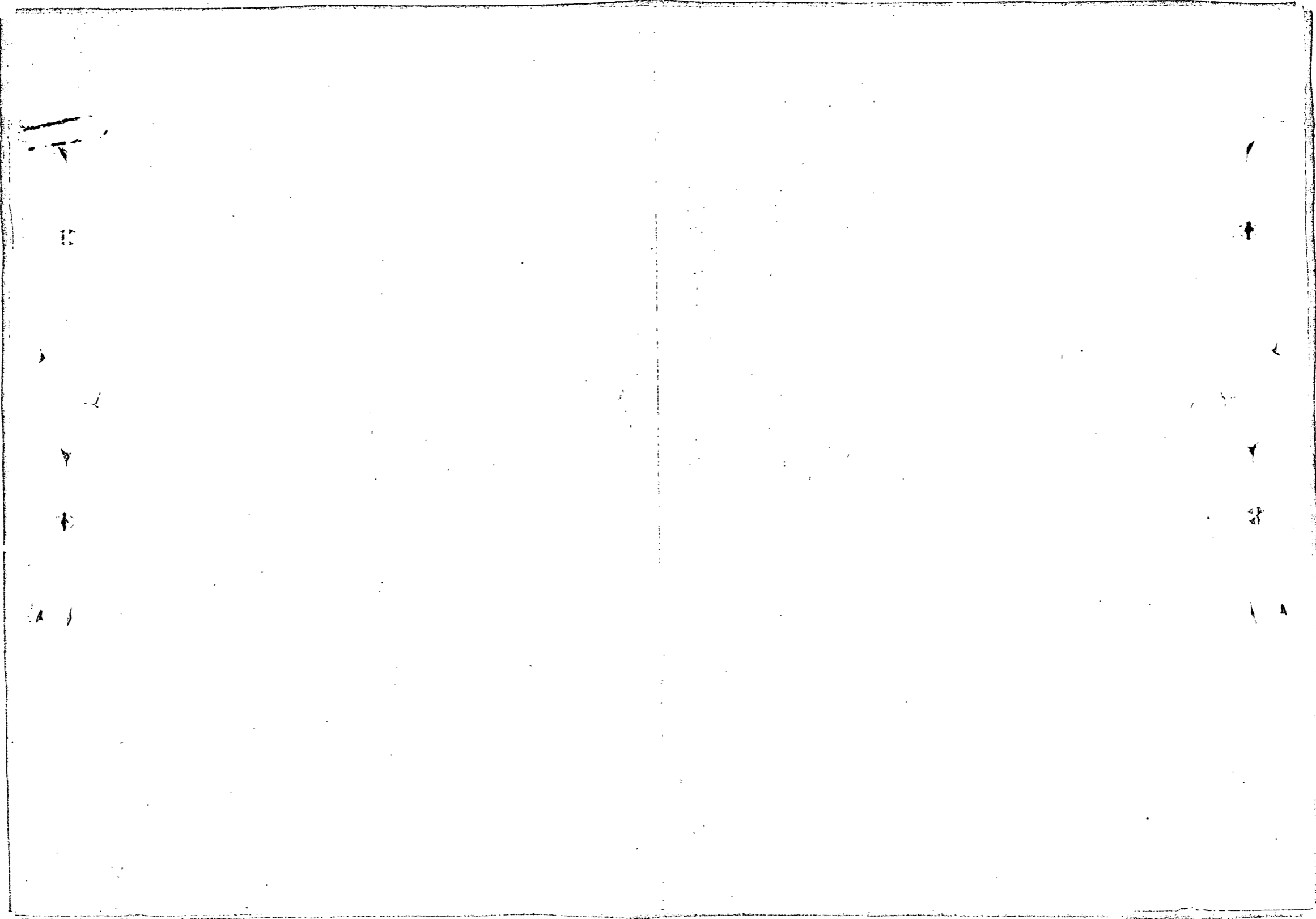
光文丸ノ貸下契約ハ近ク満期トナルニ付キ更ニ管理希望者ヲ募リ大體ニ於テ有利ナル申出ルニ對シ期限一ケ年ノ貸下契約ヲ締結スルコト

右管理希望者募集手續方ニ付テハ遞信省ニ依頼スル

コト

尚議題外トシテ賠償勘定ニ依リ購入シタルオステル

リトト文章ノ保管場所ニ関シ協議アリタル結果東京帝國大學附屬圖書館ニ之ヲ保管セシムルコト適當ト認めラレタリ



B-0276



第六

表

吉晴

昭和三年五月三日

賠償物件處理委員會幹事

西村 淳

委員

外務書記官 三谷 隆 信 殿

賠償物件處理委員會
西村 淳 印

五月一日第二十六回賠償物件處理委員會ノ決議有之候ニ付右議題並ニ
決議別紙ノ通り及送付候條御査閱相成度此段奉希候

大 藏 省

B-0276

（庫）昭和三年五月一日

賠償物件處理委員會第二十六回會議々題及決議錄

大藏省理財局

B-0276

昭和三年四月三十日
決裁済五月一日

賠償物件處理委員會第二十六回會議

(議會中ニ付書面持廻ヲ以テ會議ニ代フルコトト致シ度)

幹事 大藏事務官 西村淳一郎

會長 大藏次官 黒田英雄
委員 外務省條約局長 松永直吉
外務書記官 三谷隆信

委員 大藏省理財局長 富田勇太郎
大藏書記官 青木一男
文部省專門學務局長 西山政猪
商工省商務局長 副島千八
商工書記官 村井四郎
逓信省管船局長 宮崎清則
逓信書記官 長川豊樹

B-0276

第二十六回賠償物件處理委員會
議題 第四回對獨賠償債權讓渡割當ニ關スル件

議題說明

對獨賠償債權餘額五百萬麻ヲ限度トシ民間希望者ニ讓渡ノ件ニ關シテハ賠償物件處理委員會第二十五回會議ノ決議ニ基キ本年三月二十四日ノ官報ニ大藏省告示第四十九號ヲ以テ公表シタル處讓渡希望申請額ハ別紙ノ通り約四百六十萬六千餘麻ニシテ各申請内容悉レモ告示所定ノ條件ヲ具備セルモノト認メラル
尤モ告示中ニ發表セザリシ條件タル成ル可ク本邦船舶ヲ利用スルコトニ付テハ各申請者ニ於テ獨逸賣主側ト種々交渉ヲ重ネタル結果約三百萬麻ニ關シテハ本邦船

舶利用ヲ確定シタルモ殘額約百六十萬麻ニ關シテハ其ノ實行ヲ確定シ難キ趣ナル處今回ノ申請總額ハ讓渡豫定限度内ナルヲ以テ本邦船舶利用方未確定ノ分ニ付テモ補足ノ意味ヲ以テ之ヲ認マルコトトシ各社申請ノ全額ニ付其儘讓渡割當ヲ為スコト適當ト認メラル

決議

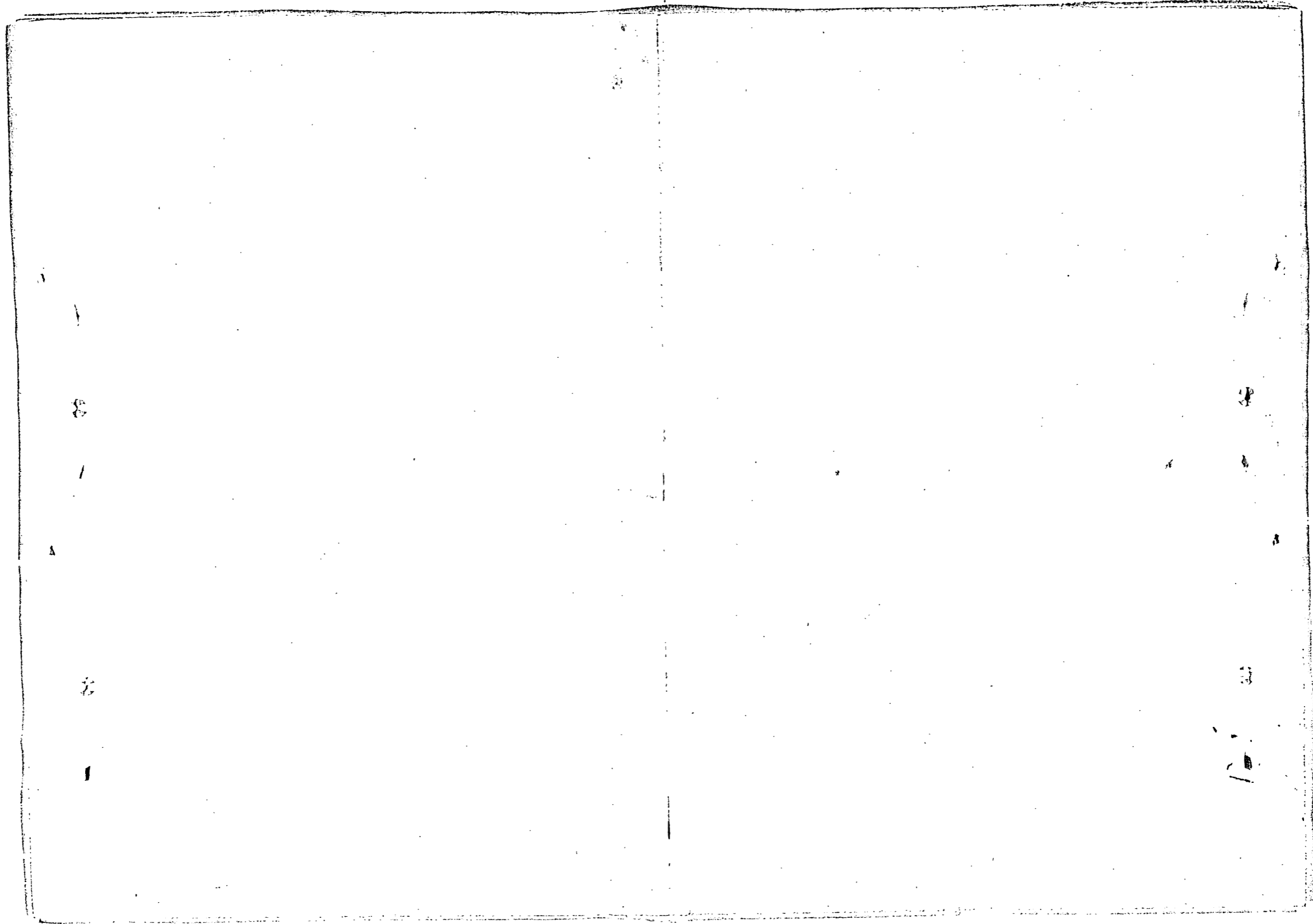
第四回對獨賠償債權讓渡割當ニ關スル件

本年三月二十四日大藏省告示第四十九號ニ依ル第四回對獨賠償債權餘額五百萬麻ヲ限度トスノ讓渡ニ付テハ九表ノ通り之カ割當ヲ為スコト

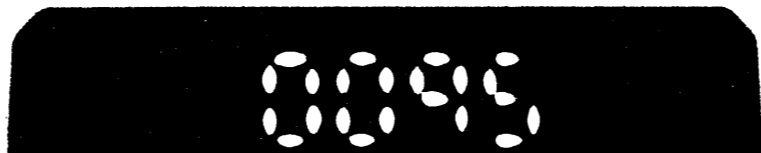
第四回對獨賠償債權讓渡割當額表

會社名	割當額
三菱商事株式會社	六七九六五磅 六八五九六磅 〔約一六四〇〇〇麻〕
大倉商事株式會社	五四四一二磅 七六二六五磅 〔約一四三〇〇〇麻〕
富士電機製造株式會社	二六三九〇麻 一八九一七磅 〔約二六四〇〇〇麻〕
株式會社安宅商會	一三三二九四磅 一三七八六八磅 二六三九〇麻 〔約四六六〇〇〇麻〕
計	〔約一六四〇〇〇麻〕

B-0276



B-0276



昭和三十八年九月十一日

昭和三十八年九月十一日

賠償物件處理委員會會長

大藏次官 黒田英雄



委員 外務書記官 三谷隆信 致

九月十四日午前十時ヨリ中央會議所第八號室ニ於テ賠償物件處理委員會第二十七回會議別紙議題ニ關シ開催致シ度候ニ付御出席被下度此段及通牒候也

寺崎

大藏省

(3.5 富井納)

尚書省ノ國務ヲ掌理ス
候ニ付爲念申察候也

B-0276

昭秘案 八六

昭和三年九月十一日

賠償物件處理委員會會長

大藏次官 黒田 英 雄



本員 外務書記官 三谷隆信 致

九月十四日午前十時ヨリ中央會講所第八號室ニ於テ賠償物件處理委員會第二十七回會講別紙議題ニ關シ開催致シ度候ニ付御出席被下度此段及所候也

大 藏 省

(3.5 富井納)

尙書令ノ用意ヲ致置キ候ニ付爲念申添候也

B-0276

ケル前例ニ依ルコト

決 議 (案)

第五回賠償債權民間譲渡ニ關スル件
五百萬圓ノ限度トシ第五回賠償債權民間譲渡ヲ行フコト
右實行ノ條件並方法ニ付テハ大体従前ノ賠償債權民間譲渡ノ場合ニ於ケ
ル前例ニ依ルコト

大 藏 省

(3.5 富井納)

大藏省告示第

號

對賠償債權譲渡ノ件

政府ハ對賠償債權譲渡中トシ本年次金餘額額五百萬圓ヲ限度トシ此ノ際之
ヲ民間希望者ニ對シ譲渡スルコトトナシタルニ付テハ其ノ方法並條件ハ
實効引渡規則(大正十五年三月五日外務省告示第十九號)並左記各條ニ
定ムル所ニ依ルモノトス

一 賠償債權ノ譲渡ヲ受ケ得ル者ハ引渡キ三年以上前起商品ノ輸入ニ從
事シ且自用アル商人タルコトヲ要ス

二 賠償債權ノ譲渡ヲ希望スル者ハ其ノ金額、該債權ヲ利用シ輸入セム
トスル別当商品ノ實際数量價格及其ノ代金支拂ノ時期並譲渡ノ資格
ヲ具備スル旨ヲ明記シタル對賠償債權譲渡申請書ヲ大藏省理財局
長宛ニ提出スヘシ

三 前項ノ申請書ハ自昭和三年 月 日迄ニ提出スルコトヲ要ス但シ右
期間内ト雖申請額力減額並定額ヲ超過スル場合ニハ申請書ヲ受理セ

大 藏 省

(3.5 富井納)

附 録

B-0276

サルコトアルヘシ

四、賠償債權ヲ利用シテ購入スル獨逸商品ハ國產振興ノ趣旨ニ反セス且
 貴澤品ニ非サルモノナルコトヲ要ス

五、賠償債權讓渡額ハ原則トシテ一契約十萬圓又ハ其ノ相當額以上トス

六、政府ハ對獨賠償債權讓渡申請書ヲ調査シ大藏省賠償物件處理委員會
 ノ審議ニ附シ賠償債權ノ讓渡ヲ受ク可キ者並讓渡金額ヲ決定シタル
 上申請者ト契約ヲ締結スルモノトス

七、賠償債權ノ讓渡ハ巴里ニ於ケル帝國政府代表者ノ振出ス賠償爲替手
 形ノ交付ニ依リ之ヲ行フモノトス

八、前號ノ賠償爲替手形ノ交付ハ昭和三年十一月以降ニ於テ之ヲ行フモ
 ノトス

九、賠償爲替手形ハ原則トシテ就實ニテ作成ス但シ商品購入契約カ就實
 以外ノ通實ニテ表示セラレタルトキハ右通實ニ依リ作成ス

十、賠償債權讓渡ノ代金ハ賠償爲替手形ノ金額ヲ其ノ讓渡契約成立ノ日
 ニ於ケル積算正金銀行對外爲替相場ニ依リ換算シタル邦貨額トス

大藏省

(3.5 富井納)

十一、賠償債權ヲ讓渡シタル場合其ノ代金ノ納付ニ付テハ賠償爲替手形交
 付ノ日ヨリ一年以内ノ延納ヲ認ムルコトヲ得ルモノトス

十二、前號ニ依リ延納ヲ認メタル場合ニハ擔保トシテ圓貨ヲ提供セシムル
 モノトス

大藏省

昭和三年 月 日

大藏省

(3.5 富井納)

B-0276

議題第三 賠償勘定ニ依リ獨逸圖書購入ニ關スル件

(一)賠償勘定ニ依リ獨逸圖書ヲ購入シ各大學ニ保管セシムルコトハド！ズ
 第三年度以來實行シ來レル處ナルニ付第五年度分ニ付テモ之ヲ實行ス
 ルコトトシ其ノ割當額ハ各大學ノ學部數ヲ標準トシ東京、京都、各七
 萬圓、東北、九州各四萬圓、北海道三萬圓、京城、臺北各二萬圓、合
 計二十九萬圓トスルコト適當トスヘシ

(二)該ニ司法省ヨリ同省附屬司法研究室備付ノ獨逸圖書二十萬圓ヲ賠償
 勘定ニテ購入アリ度旨申出アリタル處第二十四回賠償物件處理委員會
 ニ於テ其ノ金額ヲ十萬圓ニ査定シ之ヲ承認セリ然ルニ今殺更ニ殘額十
 萬圓ノ購入方實行アリ度旨同省ヨリ申出有之事情已ムヲ得サルモノト
 認めラルルニ付金額ヲ五萬圓ニ査定ノ上之ヲ承認スルコトト致シ度

決 議 (案)

賠償勘定ニ依リ獨逸圖書購入ニ關スル件

賠償勘定ニ依リ左記ノ通り獨逸圖書ヲ購入シ夫々無償ニテ保管セシムル

大 省

(3.5 富井稿)

コト

(一)東京帝大、京師帝大各七萬圓、東北帝大、九州帝大各四萬圓、北海道
 帝大、三萬圓、京府帝大、臺北帝大各二萬圓、合計二十九萬圓

(二)司法省 五萬圓

大 省

(3.5 富井稿)

参照

各大学関係贈借圖書取得状況 (昭和三年九月一日現在)

大学名	第一回	第二回	計
東京	一四〇〇〇〇 内プロイス文庫 オステルリート文庫 三一〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇	一六〇〇〇〇〇
京都	〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
東北	〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
九州	〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
東京	〇	五〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇
計			一六〇〇〇〇〇

(3.5 富井納)

大蔵省

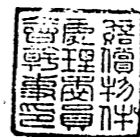
B-0276

賠秘第九〇號

昭和三年九月十九日

賠償物件處理委員會幹事

大藏事務官 西村 淳 一 郎



委員
外務書記官 三谷 隆 信 殿

本月十四日賠償物件處理委員會第二十七回會議議事錄別紙ノ通調製致候
ニ付及送付候條御査閱相成度尙御意見有之候ハハ折返御垂示被下度此段
奉希候

大 藏 省

記

B-0276

賠償物件處理委員會第二十七回會議之事錄

昭和三年九月十四日

大藏省理財司

B-0276

賠償物件處理委員會第二十七回會議々事録
 昭和三年九月十四日午前十一時十五分開會—午後〇時
 二十分閉會

出席者	會長	大藏次官	黒田英雄
委員	外務省條約司長	松永直吉	
	外務書記官	三谷隆信	
	大藏省理財司長	富田勇太郎	
	大藏書記官	青木一男	
	商工省商務司長	副島千八	
	遞信省管船司長	宮崎清則	
	遞信書記官	長川豊樹	
幹事	大藏事務官	西村淳一郎	

書記 大藏 属

島田 恒
 村松 光次

議題及議事

議題第一、第五回賠償債權民間譲渡ニ関スル件
 本邦ニ割當テラレタル對獨賠償債權ノ純残高ハ本年十
 月末約四、五〇、〇〇〇。麻十一月末約五、五〇、〇〇〇。麻
 ノ見込ナルニ付此ノ際左記ニ依リ第五回賠償債權譲渡
 フ行フコトヲ適當トスヘシ
 (一) 第五回賠償債權譲渡額ハ五百万麻ヲ限度トスルコト
 (二) 第五回賠償債權譲渡ノ發表ハ九月中ニ之ヲ行フコト
 トシ右ニ関スル大藏省告示(附録参照)ヲ官報ニ掲載ス

ルコト

(三) 賠償為替手形交付ノ時期ハ本年十一月以降トスルコト

(四) 賠償債權ヲ利用シテ購入シタル獨逸商船ノ海上運送ニ付テハ成レハ本邦船舶ヲ利用セシムルコト但シ

本條件ハ之ヲ外部ニ發表セサルコト

(五) 賠償債權讓渡代金ノ延滞期限ハ賠償為替手形交付ノ

日ヨリ一ケ年以内トスルコト

(六) 其ノ他細目ノ條件並方法ニ付テハ従前ノ賠償債權民間

間讓渡ノ場合ニ於ケル前例ニ依ルコト

依ッテ左ノ通り決議アリタリ

決議

2

第五回賠償債權民間讓渡ニ関スル件

五百萬麻ヲ限度トシ第五回賠償債權民間讓渡ヲ行フコト

ト

右実行ノ條件並方法ニ付テハ大体従前ノ賠償債權民間讓渡ノ場合ニ於ケル前例ニ依ルコト